

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	緊急物資備蓄事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部総務課	事業実施(予定)年度	平成24~平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	被災時の市民生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)		3,255				
			5,429				
			2,174				
			—				
			5,429	0			
	B. 執行済額		5,024				
	うち交付金充当額		4,019				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		92.5%				
予算の状況の説明		当初予算から2,174千円増額になっているが、これは、備蓄倉庫に備蓄品を陳列する棚が必要だったため、委託料から流用し、備蓄品整理棚購入事業を実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	緊急物資の備蓄 ①粉ミルク(スティック)	目標	( 780本 )	( )	( )	( )	
		実績	780本				
	緊急物資の備蓄 ②粉ミルク(缶)	目標	( 10缶 )	( )	( )	( )	
		実績	10缶				
	緊急物資の備蓄 ③おりたたみベッド:	目標	( 25台 )	( )	( )	( )	
		実績	25台				
	緊急物資の備蓄 ④角まくら	目標	( 30個 )	( )	( )	( )	
		実績	30個				
緊急物資の備蓄 ⑤折りたたみリヤカー	目標	( 7台 )	( )	( )	( )		
	実績	7台					
⑥毛布	目標	( 30枚 )	( )	( )	( )		
	実績	30枚					
緊急物資の備蓄 ⑦透明マルチ(0.03mm×135mm×200m)	目標	( 2ロール )	( )	( )	( )		
	実績	2ロール					
緊急物資の備蓄 ⑧乾パン	目標	( 5,400食 )	( )	( )	( )		
	実績	5,400食					

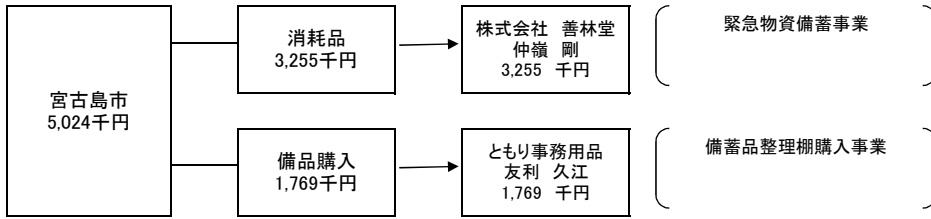
達成状況説明	平成27年度までに13,000人分の緊急物資備蓄を目標としており、今年度予定していた約15%程度の備蓄を達成した。						
	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)
成果目標 (指標) 及び進捗状況	緊急物資の備蓄数	目標	( - )	( 2,000人分 )	( )	( )	( 13,000人分 )
		実績		2,000人分			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	最終目標、13,000人分の備蓄を予定しており、今年度は約2,000人分の備蓄を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>備蓄食糧等については、賞味期限の問題がある。 どのように管理をし、入れ替えを行うかに留意しなければならない。</p>	<p>粉ミルク等については、保育所等や保健センターなどと連携を図り、乳幼児のいる市民の皆様に配布を行いたい。 食糧や飲料水等については、防災訓練等を実施し、訓練の中で活用するなど、賞味期限切れの備蓄品については入れ替えを実施していく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
平成24年度事業は予定通り完了しており、平成25年度は約6,000人分の備蓄を予定している。最終目標の13,000人分の備蓄に向けて取り組んでいく。		

**資金の流れ**

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
5,024	5,024	4,019	1,005	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考えている。 ○予定していた事業は全て実施済みであり予算規模は適正であった。 ○費目については、消耗品費のみであり支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市
------	------

**平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-③	海抜表示委託事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	総務部総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				災害に強い県土づくりと防災体制の強化
				Ⅲ-10-(2)

**事業内容**  
市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難できるよう、海抜表示を市内各地区に設置する。

**実施方法**  
直接実施    委託    補助    負担    その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	1,259				
	(b) 予算現額	1,259				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	1,259	0			
	B. 執行済額	1,259				
	うち交付金充当額	1,007				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施済み。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		海抜表示の設置	目標 ( 69箇所 )	( )	( )
	実績	69箇所			
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	電柱に海抜表示を行うことにより、普段の生活の中で市民が目にすることで海抜を確認でき、速やかな避難につながるため、69箇所に海抜表示設置を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
		目標	( — )	( 69箇所 )	( )	( )
	実績		69箇所			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )
	実績					
進捗状況説明	宮古島市内約200箇所への設置を目標としており、約40%程度の設置を達成した。					

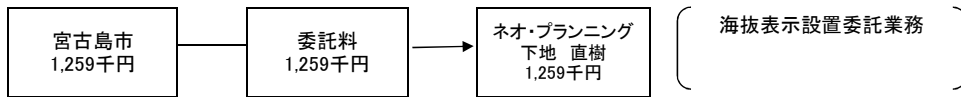
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	現在、宮古島市内には、本市が設置した海拔表示板と、民間事業者が設置した海拔表示板がある。 本市の事業では設置に限度があり、民間事業者の設置には感謝しているが、海拔高の違いが何カ所か見受けられた。	本市の海拔表示板の海拔高データは、沖縄県公開用地図情報システムを基にしており、民間事業者にも、同様のデータを基に作成・設置するよう協力を求めながら、設置、普及を図っていきたい。

**今後の取り組み方針**

平成24年度事業は予定通り完了しており、今後は平成25年度に約70箇所、平成26年度に61箇所の設置を予定している。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,259	1,259	1,007	252	



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は随意契約でおこなっているが、理由として、海拔表示設置板は沖縄県のガイドラインで、サイズ、印刷方法等が定められており、その条件で作成できる技術を持った業者が県内でも3社程しかおらず、妥当であったと考えている。 ○予定していた事業は全て実施済みであり予算規模は適正であった。 ○費目については、委託費のみであり支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	宮古島市公設市場青空市サンルーフ設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	観光商工局商工物産交流課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	公設市場の活性化と集客施設としての機能を高めるため、青空市にサンルーフを設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	7,703				
		(b) 予算現額	6,903				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 800				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,903	0			
	B. 執行済額		6,903				
	うち交付金充当額		5,523				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不要額が発生しているが、工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公設市場の機能強化・サンルーフ設置	目標	( 66.12㎡ )	( )	( )	( )	
		実績	66.12㎡				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	公設市場の機能向上を目的として、青空市にサンルーフを設置した。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	公設市場の機能強化・サンルーフ設置	目標	( — )	( 66.12㎡ )	( )	( )	( — )
		実績		66.12㎡			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	公設市場の青空市販売者において、天候が悪い状態（雨・風等）では商売が出来ない状況であったが、サンルーフの創設に伴い常時商売が可能となり、公設市場の機能向上に繋がった。					

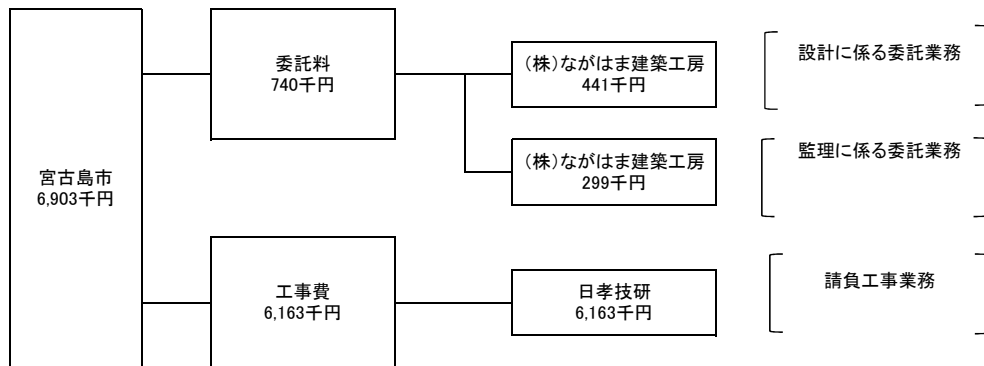
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今後は、市場を拠点とした誘客イベントを実施し、公設市場の活性化に努める必要がある。</p>	<p>1年を通してイベント等を開催することにより、より効果的な集客活動が展開出来る。</p>

**今後の取り組み方針**

本市で生産される各時期の農産物を活用したイベントを開催し、誘客活動及び農産物のPRを行い、本市場のさらなる活性化・本市の観光振興を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,903	6,903	5,523	1,380	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託・工事業業者は見積入札・指名競争入札を実施し選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○活動目標・成果目標を達成しており、予算規模は適正であった。</p> <p>○費用・用途については、完了検査にとり確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	宮古島市公設市場屋外階段設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	観光商工局商工物産交流課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	公設市場の利便性を向上させ、集客施設としての機能を高めるため、屋外階段を設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	3,792				
		(b) 予算現額	3,945				
		(c) 増減額 (b-a)	153				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,945	0			
	B. 執行済額		3,885				
	うち交付金充当額		3,108				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		98.5%				
予算の状況の説明		不要額が発生しているが、委託費・工事費の見積入札・指名競争入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公設市場の機能強化・屋外階段設置	目標	( 屋外階段設置 1ヶ所 )	( )	( )	( )	
		実績	屋外階段設置 1ヶ所				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	公設市場の機能向上を目的として、市場東側からの屋外階段を設置した。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（24年度）
	公設市場の機能強化・屋外階段設置	目標	( — )	( 屋外階段設置 1ヶ所 )	( )	( )	( — )
		実績		屋外階段設置 1ヶ所			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	公設市場は幹線道路側（東側）からの階段が無く、客層が2階店舗へ流れにくい状況であったが、屋外階段の創設に伴いスムーズな客層の流れを確立することが可能となった。					



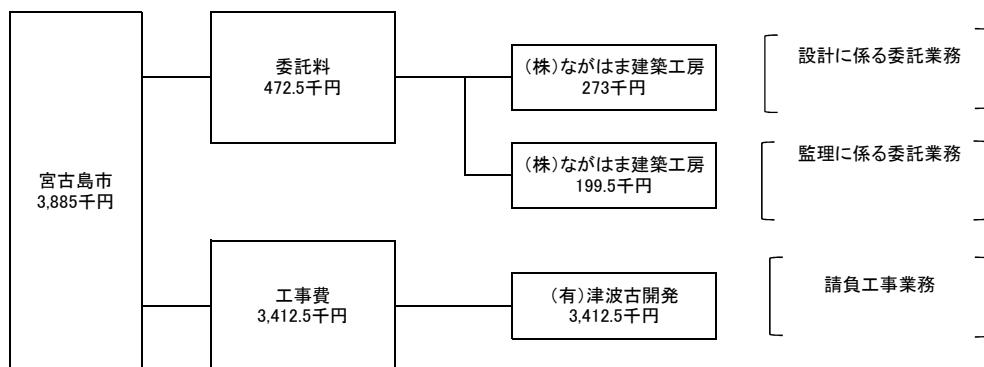
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今後は、市場を拠点とした誘客イベント等を実施し、公設市場の活性化に努める必要がある。</p>	<p>1年を通してイベント等を開催することにより、より効果的な集客活動が展開出来る。</p>

**今後の取り組み方針**

本市で生産される各時期の農産物を活用したイベントを開催し、誘客活動及び農産物のPRを行い、本市場のさらなる活性化・本市の観光振興を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,885	3,885	3,108	777	



資金の流 れ、費 目・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託・工事事業者は見積入札・指名競争入札を実施し選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○活動目標・成果目標を達成しており、予算規模は適正であった。</p> <p>○費用・用途については、完了検査にとり確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	熱帯植物園再生事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	観光商工局商工物産交流課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	熱帯植物園の集客機能を向上させるため、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	3,000				
		(b) 予算現額	2,657				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 343				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,657	0			
	B. 執行済額		2,656				
	うち交付金充当額		2,125				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額もなく、当初計画していた事業内容は実施しており、達成状況を鑑みても適正であったと考える。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	熱帯植物園の集客機能の向上・遊歩道整備	目標	( 1Km )	( )	( )	( )	
		実績	工事設計作成 (1.4km)				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	観光客及び市民の憩いの場として定着しつつある熱帯植物の機能向上を図るため、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽を実施等、集客力のある施設として再整備する為の実施設計委託。工事実施に向けての実施設計を作成し、当初の計画どおり執行されている。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	熱帯植物園の集客機能の向上・遊歩道整備	目標	( — )	( 1Km )	( )	( )	( — )
		実績		工事設計作成 (1.4km)			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	平成24年度は基本設計を作成し、平成25年度の工事実施に向けての基礎ができあがった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本設計を実施していく中で特に問題点はないが、花の王国の創設に伴い、年々入園者数を伸ばしており、事業実施後は更なる観光客・市民の入園者数は増加する事が予想される。一年を通した誘客施設として確立する為、現状の管理体制を見直す必要がある。</p>	<p>現状の管理体制を検討し、受入体制を確立する事により、観光振興及び市民サービスに繋がる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>本設計を基に事業を実施すると共に、誘客施設確立に向けた管理体制を検討していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,656	2,656	2,125	531	
<pre> graph LR     A[宮古島市 2,656千円] -- 委託料 2,656千円 --&gt; B[株東洋測量コンサルタント 2,656千円]     subgraph Note [ ]     B --- NoteText["(宮古島市熱帯植物園再生事業 設計にかかる委託業務)"]     end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札を実施し受託者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○活動目標・成果目標を達成しており、予算規模は適正であった。 ○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧	伊良部島・下地島間入江整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	伊良部支所地域づくり課	事業実施（予定）年度	平成24～平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	伊良部・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水質調査と、既存観光施設の活用と合わせた水域一帯の整備に向けた基本計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,700				
		(b) 予算現額	4,515				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 185				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		4,515	0			
	B. 執行済額		4,515				
	うち交付金充当額		3,612				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算と予算現額との差額の原因は指名競争入札による入札残であり、予算は適正に執行された。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	伊良部地区観光地形成基本計画策定	目標	( 基本計画策定 )	( )	( )	( )	
		実績	基本計画策定				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	活動目標であった伊良部・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するための伊良部地区観光地形成基本計画を策定しており、目標は達成している。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	伊良部地区観光地形成基本計画策定	目標	( — )	( 基本計画策定 )	( )	( )	( — )
		実績		基本計画策定			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	入江の水質調査委託及び、観光地形成に向けて伊良部地区観光地形成基本計画を策定した。						

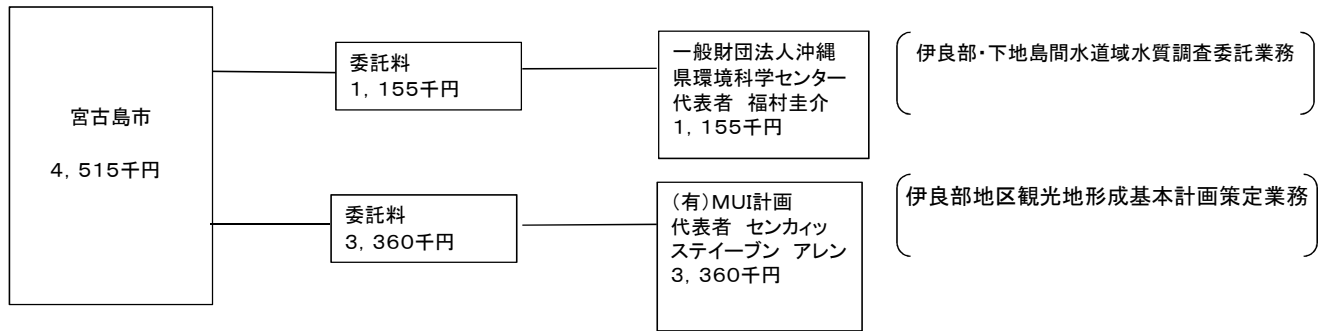
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>当年度事業については、計画どおり実施できた。25年度は基本計画に基づき実施設計を行う。 基本計画策定で出てきた課題として、当該地において24～25年度で県が治山保安林整備を施工しており、協議を行いながら事業を進めていく必要がでてきた。</p>	<p>25年度は実施設計を行うが、基本計画の実施可能な事業を選定し実施設計を行う必要がある。(入江の浚渫等)</p>

**今後の取り組み方針**

観光客受け入れ体制に向けた観光地整備を行う。  
24年度基本計画策定⇒25年度実施設計⇒26年度実施(施工)⇒27年度実施⇒直営

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

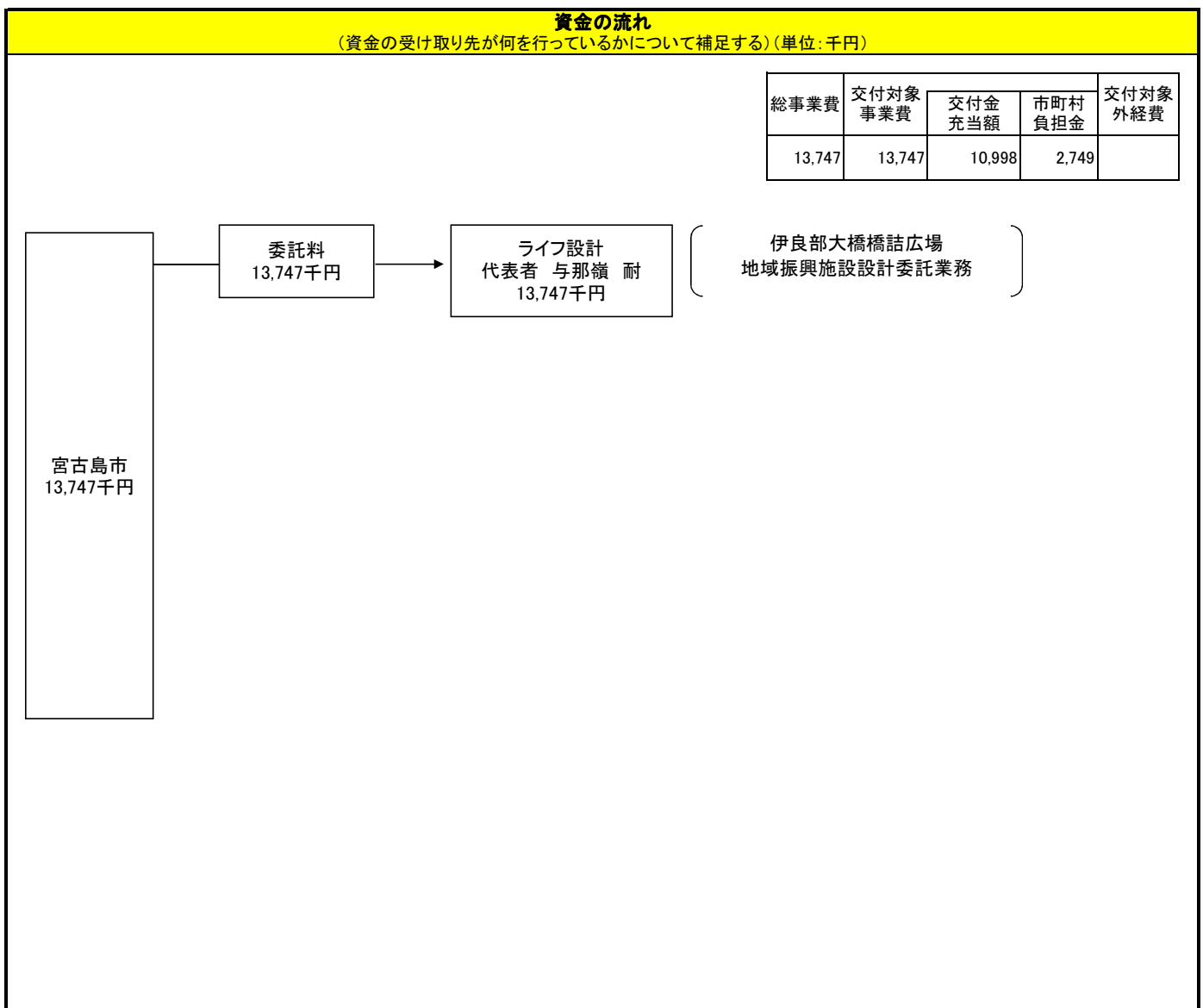
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,515	4,515	3,612	903	



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予定していた事業内容は全て実施しており予算規模は適正である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	伊良部大橋橋詰広場地域振興施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	伊良部支所地域づくり課	事業実施（予定）年度	平成24～平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	現在整備が進んでいる宮古島・伊良部島間を結ぶ伊良部大橋の橋詰広場に観光拠点となる地域振興施設を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b> (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		14,670				
			13,747				
			▲ 923				
			—				
			13,747	0			
	B. 執行済額		13,747				
	うち交付金充当額		10,998				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		指名競争入札により13,747,750円にて、委託契約を締結。当初予算と予算減額の差額は入札残であり、予算執行は適正に処理されている。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光拠点施設（地域振興施設）の整備に係る実施設計の実施	目標	（ 実施設計 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	実施設計				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	観光拠点施設（地域振興施設）整備に係る実施設計を委託により行った。実績は、活動目標どおり達成した。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	観光拠点施設（地域振興施設）の整備に係る実施設計の実施	目標	（ — ）	（ 実施設計 ）	（ ）	（ ）	（ — ）
		実績		実施設計			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	今年度の実施設計により、次年度以降に地域振興施設を整備する。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	当事業については、計画通り今年度の事業を実施できた。 しかし、沖縄県主導にて伊良部大橋橋詰広場整備事業が進められている中、用地取得(沖縄県)が難航しているため、次年度以降の事業計画の変更が必要となる可能性がある。	伊良部大橋橋詰広場整備事業の事業主体である沖縄県との連携により、工期を含めた当事業計画の練り直しが必要。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
伊良部大橋橋詰広場整備事業の事業主体である沖縄県の進捗状況と照らし合わせ、平成25年度以降の事業計画を作成し直す。		



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の選定は、「宮古島市建設工事等人札執行事務処理要領」により、指名競争入札を経て選定しており妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算額は、「建築設計業務等積算基準」による積算しており適正規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目は事業実施に係る委託料のみであり、必要なものに限定されていた。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑪		渡口の浜観光地整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部署名	伊良部支所地域づくり課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光地として多くの観光客が訪れている「渡口の浜」に観光バスやレンタカーに対応した駐車場を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,520				
		(b) 予算現額	8,043				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 477				
		(d) 前年度繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	8,043	0			
	B. 執行済額		8,043				
	うち交付金充当額		6,434				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		指名競争入札により委託費924,000円、工事費7,119,000円を契約締結。当初予算と予算現額の差は入札残であり、予算執行は適正に処理されている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	1)アクセス道路舗装	目標	( L=88.0m )	( )	( )	( )	
		実績	L=88.0m				
	2)駐車場整備	目標	( 513.0㎡ )	( )	( )	( )	
		実績	513.0㎡				
達成状況説明	活動目標であるアクセス道路舗装と駐車場の整備を実施した。活動目標は達成されている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	1)アクセス道路舗装	目標	( )	( L=88.0m )	( )	( )	( L=88.0m )
		実績		L=88.00m			
	2)駐車場整備	目標	( )	( 513.0㎡ )	( )	( )	( 513.0㎡ )
		実績		513.0㎡			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	伊良部島の観光地である渡口の浜に駐車場を整備し、アクセス道路を整備することで観光客の利便性が向上した。						



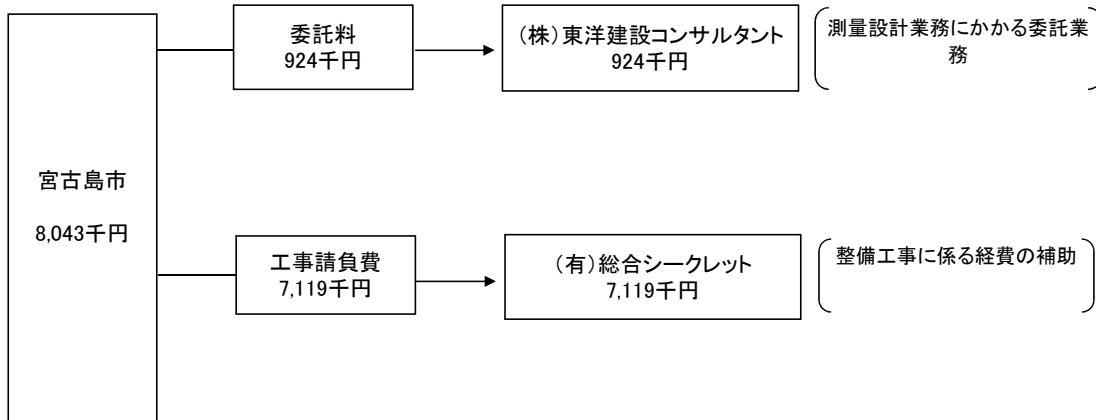
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今回実施した進入道路及び駐車場の整備を含めトイレ及びシャワー施設は整備済みである。今後予定している伊良部島下地島間の入江整備の起点側であり連携のとれた整備を推進する。	トイレは、整備済みであるがバリアフリー化がなされておらず今後の課題である。

**今後の取り組み方針**

事業で整備した観光地へのアクセス道路、駐車場等の公共的施設の管理を行い美しい観光地づくりを推進していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,043	8,043	6,434	1,609	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○測量設計委託業者と整備実施業者は、指名競争入札により選定しており妥当であると考えている。 ○駐車場を整備するために委託設計費と実施費は妥当であったと考えている。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものと支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑫	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	生涯学習部生涯学習振興課	事業実施（予定）年度	平成24～平成28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心に伝説と民話に彩られたロマンあふれる散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	38,000				
		(b) 予算現額	38,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	38,000	0			
	B. 執行済額		37,998				
	うち交付金充当額		30,398				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画より特に大きな変更はなく、事業の執行を完了した。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	歴史・文化ロードの整備 1)文化財の復元工事の実施	目標	( 3件 )	( )	( )	( )	
		実績	2件				
	歴史・文化ロードの整備 2)遺跡の発掘調査の実施	目標	( 3件 )	( )	( )	( )	
		実績	4件				
	歴史・文化ロードの整備 3)案内板等の設置	目標	( 16基 )	( )	( )	( )	
		実績	22基				
	歴史・文化ロードの整備 4)散策パンフレットの作成	目標	( 100部 )	( )	( )	( )	
		実績	12,000部				
達成状況説明	・復元工事の実施については、想定していた範囲以上の施工面積となったため、一件当たりの工事価格が上がり、実施件数が1件減となった。（石積み復元にかかり、全解体となったため。） ・散策パンフレットについては、広く観光需要に資するため、配布や周知のための設置箇所を、市内ホテル・レンタカー事業所・観光施設など、民間の観光関連事業所等への設置も検討し、12,000部への増刷とした。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	歴史・文化ロードの整備 1)文化財の復元工事の実施	目標	( 0件 )	( 3件 )	( )	( )	( )
		実績	/		2件		
	歴史・文化ロードの整備 2)遺跡の発掘調査の実施	目標	( 1件 )	( 3件 )	( )	( )	( )
		実績	/		4件		
	歴史・文化ロードの整備 3)案内板等の設置	目標	( - )	( 16基 )	( )	( )	( )
		実績	/		22基		
	歴史・文化ロードの整備 4)散策パンフレットの作成	目標	( 0部 )	( 100部 )	( )	( )	( )
実績		/		12,000部			
【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )	
	実績	/					
進捗状況説明	<p>・事業全体としては、平成24年度事業の目標を達成したと考える。また、その後の活用については、コース整備を含め完了が年度末と なったため、平成25年度の活用状況を基準に、平成25年度以降の事業を推進したい。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備したコースの管理について、文化財の特性上、定期的及び継続的な管理(コース物件の清掃等)が必要である。</li> <li>・原状回復など復元工事を実施する物件については、特に当時の物件の様子を明確に記した歴史資料等に基づけないものは、想定範囲で復元工事が実施されないよう十分留意する必要がある。(例:屋敷・建物跡など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース物件のうち、事業の方針に基づく観光需要に資するために必要な管理については、業務委託等により定期的かつ継続的に実施できるよう検討を行う。</li> <li>・復元工事の実施にあたっては、その物件の本質的価値を裏付ける資料に基づく復元となるよう、有識者や県文化財担当部局との調整を検討する。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物件の清掃については、事業の方針に基づく観光需要に資するために必要な範囲(年4回程度)で実施する。</li> <li>・復元工事については、文化財としての価値を回復させることを目的とする工事とし、安易に観光施設としての位置づけ(モニュメント的な復元)とならないような取り組みとする。</li> <li>・パンフレットの作成にあたっては、幅広い客層を想定した内容とする(内容を読んでも解りやすく、ビジュアル的にも楽しめるものを目指す)。また、外国人観光客誘客に向けた取組として、多言語表記とする。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
37,998	37,998	30,398	7,600	0

宮古島市 neo歴史文化ロード 整備事業 37,998千円	需用費 1,981千円	有限会社アプロ 1,981千円	※印刷製本に係る請負業務
	委託料 24,492千円	株式会社アーキジオ 12,516千円	※調査支援(資料整理)に係る業務委託 ※文化財オルソ写真測量に係る業務委託
		株式会社文化財サービス 997千円	※石造文化財修復に係る業務委託
		株式会社シン技術コンサル 2,730千円	※文化財オルソ写真及びレーザー測量に係る業務委託
		パリノ・サーヴェイ株式会社 2,782千円	※年代測定に係る業務委託
		山田光(イラストレーター) 1,050千円	※散策パンフレットデザインレイアウトに係る業務委託
		株式会社八島建設コンサルタント 924千円	※現地測量に係る業務委託
		城南開発 438千円	※コース環境整備に係る業務委託
	サン美術 3,055千円	※説明板等制作設置に係る業務委託	
	工事請負費 11,523千円	有限会社ティガナー 9,240千円	※文化財復元に係る工事請負
有限会社三島 1,393千円		※文化財原状回復に係る工事請負	
城南開発 890千円		※文化財原状回復に係る工事請負	

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・請負事業者は指名競争入札で選定。文化財の特性上、業務には高度な専門性・技術が求められることを鑑みて適正であったと考えている。 ○本事業の成果達成のためには、対象となる物件の復元整備を実施することが重要であり、また、学術的研究の成果等を一般向け周知することを目的とした内容のため、事業の達成のため真に必要な不可欠な者であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑮	ハブクラゲネット設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設部都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24～平成33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	夏場のビーチ内で猛毒を持つハブクラゲが発生し、海水浴客が刺される被害があることから、ハブクラゲ防止ネットを設置し、海水浴客の安全を確保する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,000				
		(b) 予算現額	997				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		997	0			
	B. 執行済額		997				
	うち交付金充当額		798				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・不用額が3千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標（指標）</b> <b>及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ハブクラゲ侵入防止ネットの設置:200m 設置期間:観光シーズン(6月～10月)	目標	( ネット設置 )	( )	( )	( )	
		実績	〃				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・計画どおり、6月～10月に200mのハブクラゲ侵入防止ネットの設置を行うことができた。						
<b>成果目標（指標）</b> <b>及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	ハブクラゲ刺症被害者数	目標	( 8 )	( 0 )	( )	( )	( — )
		実績		3			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・ハブクラゲネット設置により、刺症者数を減らす事ができた。					

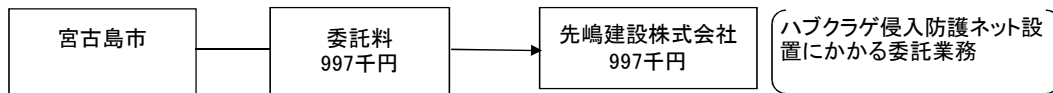
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ハブクラゲネット設置が6月～10月までとなっており、海水浴シーズン始めの4月～5月の間の刺症被害が懸念される。	4月～5月には海開き及びゴールデンウィークがあり、海開きと同時期からの設置が望ましい。それに加え、海水浴客の増加が見込まれることから、海水浴範囲の拡大が必要である。

**今後の取り組み方針**

刺症被害がでないよう、海開きと同時期からの設置を行う。さらに、ネットの延長を300m程度に延ばす。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
997	997	798	199	



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○計画どおり事業執行しており、予算規模は適正であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑯	オニヒトデ駆除事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	観光商工局観光課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	環境保全と観光客の安全性を確保するため、宮古島周辺に生息するオニヒトデ駆除を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	5,005				
		(b) 予算現額	5,005				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,005	0			
	B. 執行済額		5,005				
	うち交付金充当額		4,004				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額もなく、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況鑑みて適正であったと考える。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	オニヒトデ駆除作業実施回数	目標	( 25回 )	( )	( )	( )	
		実績	25回				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	宮古島市の周辺海域において、オニヒトデの駆除を計25回、駆除数にして8,245匹の駆除を行った。オニヒトデ殺傷事故防止については、ダイビングポイントに対するオニヒトデの発生状況を考えると殺傷事故を0にすることは難しいが、オニヒトデを駆除することにより殺傷事故を減少させることが出来ると考える。また環境保全の観点からも同様に駆除は重要である。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	オニヒトデ駆除数	目標	( 0匹 )	( 8,000匹 )	( )	( )	( )
		実績		8,245匹			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	平成24年度は8,245匹の駆除を行ったが、発生数は年々増える傾向にある。次年度以降は得られたデータを元に駆除が必要なポイントを絞り、その地点の駆除を重点的に行う必要がある。					

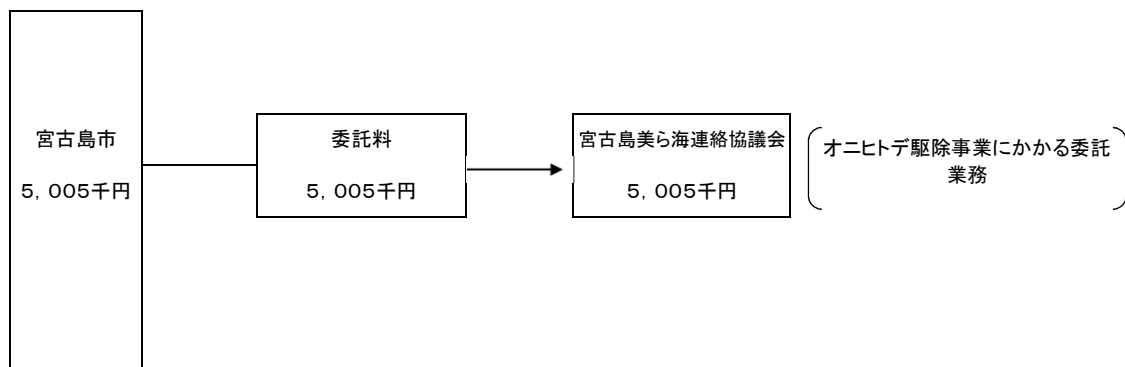
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	一度駆除した場所でも、7日～14日間でオニヒトデが移動してきて珊瑚の食害が増える傾向にあり、継続的な駆除が必要である。殺傷事故防止についても、ダイビングポイントを考えると毎日する事が良いがそれは非現実的である。しかし、駆除を続けることにより、環境保全と観光客の安全性を確保する事に繋がり、継続性が重要である。	限られた実施回数のなかで効率よく駆除作業が行えるよう、駆除地点の選定を平成24年度データに基づき行い、効果的な駆除作業を行う。

**今後の取り組み方針**

限られた回数の中で効果的に駆除を行う為に、駆除地区の選定及び作業人数の見直しを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,005	5,005	4,004	1,001	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はダイビング事業者で組織する4団体及び漁業協同組合3団体で構成されている。事業を実施するに当たり関係団体との連絡調整を行い業務を適正に運営管理し、円滑に実施出来ると考え、選定は妥当であったと考える。 ○事業目的を達成しており、予算額は適正であった。 ○費目・用途については事業報告書等により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	観光ガイド養成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	観光商工局観光課	事業実施（予定）年度	平成24～平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	今後、増加することが予想される外国人旅行者に対応して、観光ガイドを養成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	500					
	(b) 予算現額	323					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 177					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	323	0				
	B. 執行済額	322					
	うち交付金充当額	257					
	次年度繰越額	0					
	執行率（%）(B/A)	99.7%					
予算の状況の説明	当初500千円で予算を組んでいたが、開催数が1回になったために不用額が発生した。						
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光ガイド養成研修会の開催数	目標	( 1回 )	( )	( )	( )	
		実績	1回				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	英語・中国語・韓国語の講座に対して60人の募集をし、22人の参加者があり講習は終了した。今後多言語対応可能な人材を育成していく必要がある。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（31年度）
	観光ガイドの養成研修会参加人数	目標	( - )	( 60人 )	( )	( )	( - )
		実績		22人			
	【参考指標】 宮古島市入域観光客数 （独自調査）	目標	( 332,473人 )	( 400,000人 )	( )	( )	( 500,000 )
		実績		413,654人			
	進捗状況説明	当初20人×3講座=60人を見込んでいたが、告知及び講師の選考に時間が掛かったため参加者が少なかった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	講師の選択及び会場の確保及び告知にに時間が掛かりすぎた。	今後は開催時期、講師等確保を早めに行い告知も合わせて早めに確定する。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>早期に開催時期、講師確保や研修会の告知等の計画を立て、より多くの方に受講して頂き、多言語対応可能な人材を育成していく。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	322	322	257	65	
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">宮古島市 322千円</div> <div style="margin: 0 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">事務費 322千円</div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>(株)沖縄コングレ 旅費・需要費・報償費 221千円</p> <p>(株)ホテル共和 使用料及び賃借料 101千円</p> </div> </div>					

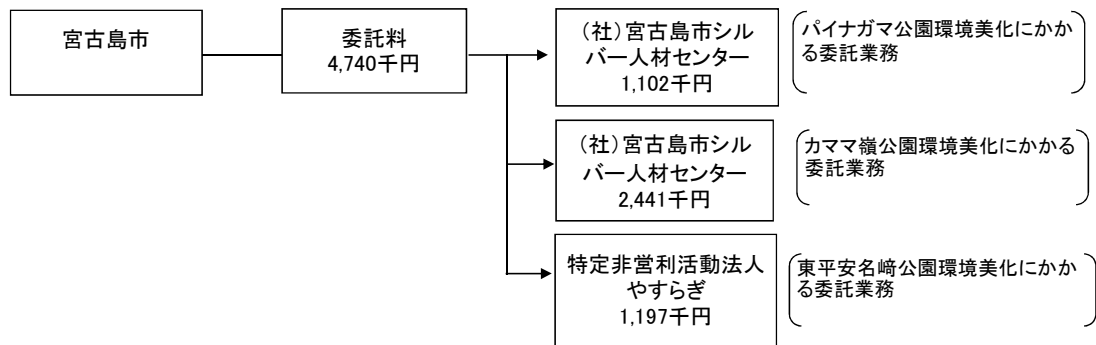
資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先に関しては適当であったと考える。 ○予算規模については適正であったと考える。 ○費用・使途も事業目的に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	観光地公園環境美化強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ	
担当部課名	建設部都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	歩いて暮らせる環境づくりの推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		4,870				
			4,740				
			▲ 130				
			－				
		B. 執行済額	4,740	0			
		うち交付金充当額	3,792				
		次年度繰越額	0				
		執行率（％）(B/A)	100.0%				
		予算の状況の説明	・不用額が129千円発生しているが、委託費の見積入札残によるものであり、当初、計画していた事業内容はすべて実施した。				
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地公園の環境美化箇所数	目標	( 3カ所 )	( )	( )	( )	
		実績	3カ所				
	美化作業回数	目標	( 月1回以上 )	( )	( )	( )	
実績		月1回以上					
達成状況説明	・観光地公園の3カ所（東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園）を月1回以上の作業により、環境美化推進を達成できた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	観光地公園の環境美化箇所数	目標	( )	( 3カ所 )	( )	( )	( )
		実績		3カ所			
	美化作業回数	目標	( )	( 月1回以上 )	( )	( )	( )
		実績		月1回以上			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	・当初計画していた事業内容については、達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	活動目標及び成果目標ともに目標を達成しており、現時点に於いては特に課題等はない。	活動目標及び成果目標ともに目標を達成しており、特に改善を要しない。
今後の取り組み方針		
事業内容はすべて実施され、目標は達成されている。平成25年度も引続き業務を実施し、観光地公園美化強化を図る。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,740	4,740	3,792	948	



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○活動目標・成果目標を達成しており、予算規模は適正であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

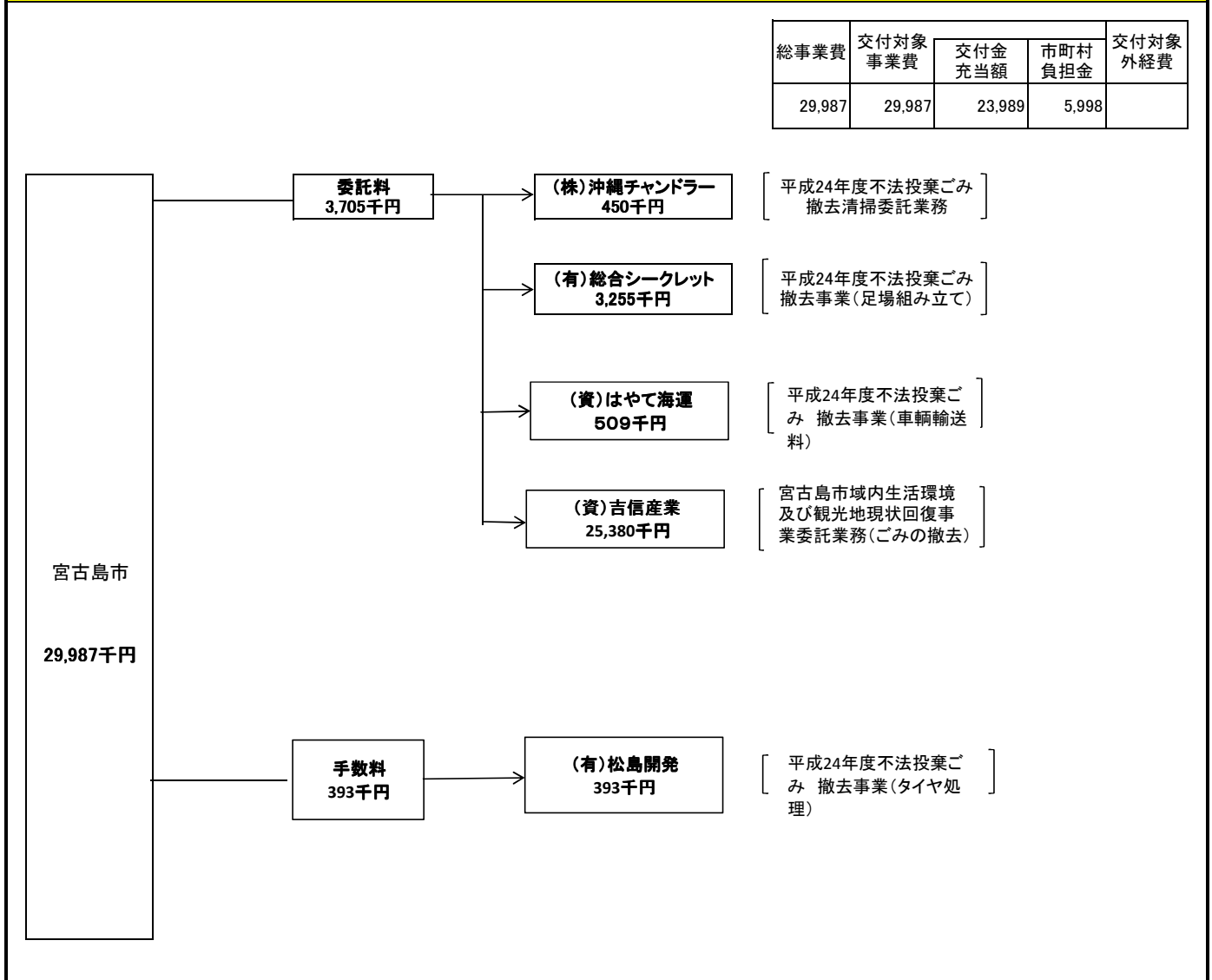
市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	ごみの不法投棄撤去事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部署名	生活環境部環境衛生課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	まちづくりにおけるユニバーサルデザインの推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本市は、県内でも不法投棄されたごみの量が最も多く確認されており、美しい島づくりを推進するため、不法投棄ゴミの一斉撤去を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		30,800				
			30,800				
			0				
			—				
			30,800	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率（%）(B/A)		29,987				
			23,989				
			0				
			97.4%				
予算の状況の説明	不法投棄ごみの撤去が出来ない現場があり、執行率が減少した。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	不法投棄ごみの一斉撤去	目標	( 全23ヶ所の撤去予定 )	( )	( )	( )	
		実績	21ヶ所撤去				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	[計画] ・全23ヶ所撤去の不法投棄ごみを撤去する。陸上部は重機使用で撤去、崖下部は足場を組み人力で作業を行う。 [作業] ・陸上部の19ヶ所は撤去完了。崖下部4ヶ所中2ヶ所を撤去完了。 [結果] ・不法投棄ごみを撤去後の再投棄も見られず、環境美化や観光地美化に役立っている。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	不法投棄ごみの一斉撤去	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
		目標	( — )	( 23ヶ所 )	( )	( )	( — )
	実績		21ヶ所				
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	[成果] ・宮古島市内の多量な不法投棄ごみを撤去できた。 [推移] ・パトロールの強化等により大規模な不法投棄は減少していく。 [要因] ・崖下部4ヶ所内残り2ヶ所は、足場組み立て用の崖下降り道が無く撤去を断念したので目標を下回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔からの風習で集落のゴミ捨て場として利用していた。</li> <li>撤去前に地域住民に趣旨と目的の説明を行った。</li> <li>崖下部の撤去のために最下部に至る降り道が必要であるが、2ヶ所が無いために撤去を断念することとなった。</li> </ul>	(効率化)・不法投棄は犯罪行為であることの、周知徹底。 (改善策)・不法投棄防止看板設置やパトロールの強化により、不法投棄の減少を図る。

**今後の取り組み方針**

・不法投棄防止看板設置やパトロールの強化と並行して、不法投棄者の摘発や氏名の公表、企業は指名停止の措置を講じる等、不法投棄ごみの無い美しい島を維持していくよう努める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出先は入札等で選定しており、妥当であった。</li> <li>各委託事業毎に予定価格を設定した予算規模であり、適正であった。</li> <li>費目・用途は各委託事業の用途に応じたものを行った。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

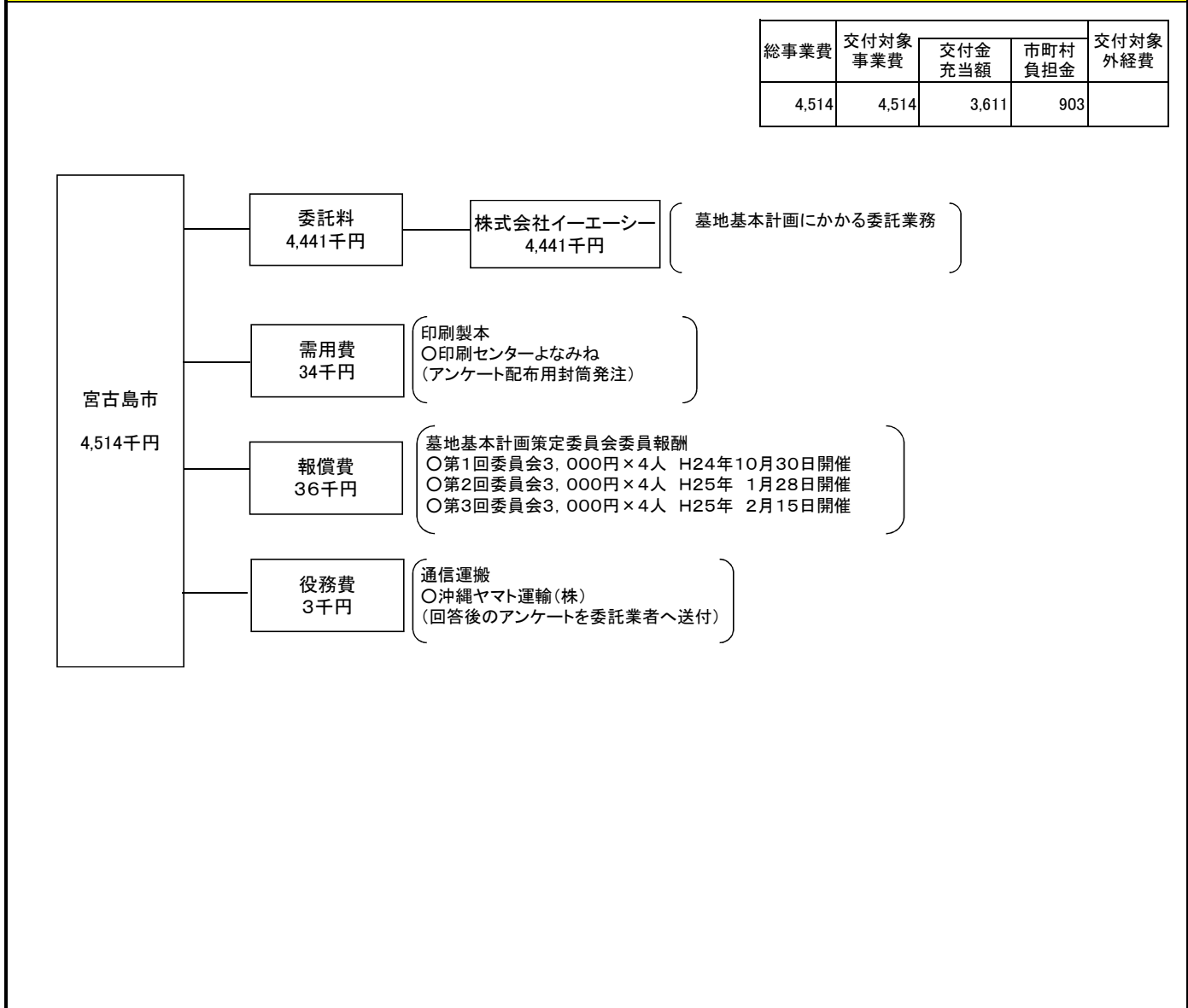
市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	宮古島市墓地基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部署名	生活環境部環境衛生課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	まちづくりにおけるユニバーサルデザインの推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	墓地利用の適正化を図るとともに、墓地需要の動向を把握するなど墓地行政の総合的指針となる「宮古島市墓地基本計画」を策定する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	4,536				
		(b) 予算現額	4,514				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 22				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,514	0			
	B. 執行済額		4,514				
	うち交付金充当額		3,611				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算額の98%が基本計画策定にかかる委託料。基本計画を策定するにあたり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	宮古島市墓地基本計画策定	目標	( 基本計画策定 )	( )	( )	( )	
		実績	基本計画策定				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	地域住民の意見を反映できるよう、20歳以上の住民を対象に墓地に関するアンケートの実施。 広く意見徴収、基本方針策定の周知を図るため、5地区に分けて住民説明会を開催した。 また、計画の妥当性、実現性などについて検討し、基本計画を取りまとめる3回の策定委員会を開催し、宮古島市墓地基本計画を策定した。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	宮古島市墓地基本計画策定	目標	( - )	( 基本計画策定 )	( )	( )	( - )
		実績		基本計画策定			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	○アンケート調査結果、策定委員会での検討を踏まえて、本市の今後の墓地の規制・誘導、適正管理のあり方、多様化する墓地・埋葬への対応、墓地の整備のあり方などに対応した総合的な墓地施策の指針となる宮古島市墓地基本計画を策定した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証 宮古島市墓地基本計画書内での課題 ○既存墓地の適正管理に努め、良好な生活環境の維持・向上が必要。 ○市民のニーズに対応した墓地の確保・整備が必要。 ○土地利用との整合性に配慮した墓地立地の規制・誘導が必要。 ○計画的かつ効果的な墓地施策の展開する必要がある。	○無縁墓地及び空き墓対策と伝統的な墓地・埋葬の継承。 ○需要と整備量の把握。 ○公営墓地・民間霊園・個人墓地の整備。 ○墓地・埋葬の多様化への対応。 ○個人墓地禁止区域の設定。 ○適正立地に向けた誘導。 ○無許可墓地対策。 ○宮古島市墓地、埋葬に関する条例の制定。 ○墓地台帳システムの構築。

**今後の取り組み方針**

○墓地の適正管理、マナー向上を促すために指導・啓発をし、管理規準などのマニュアルを作成する。  
 ○既存の無縁墓地の集約に努め、継承者の届出制度の確立を目指す。 ○伝統的な門中墓、地域の共同墓の存続・継承するように努める。  
 ○平成44年度までに1,368基、33,234㎡の算出であるが、平成25年から平成29年での5年間で発生する355基は個人墓でまかない、将来は公営墓地整備を目指す。 ○個人墓地禁止区域に立地する個人墓地の公営墓地への誘導し、移転が困難な個人墓地は植樹整備等を検討する。 ○墓地をつくる最に必要な経営許可申請制度を周知徹底する。 ○無許可墓地の地域監視体制の確立。 ○計画の実効性を担保する条例の制定を目指す。 ○個別の墓地情報を整理する墓地台帳を作成し、データベース化で管理し、検索できるようにシステムの導入を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は実績などを勘案し、6社を指名選定し、入札を実施しており、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予定していた事業は全て実施しており、予算規模は適正だった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○需用費、役務費のアンケート配布用封筒の印刷、回答後のアンケートの委託業者への送付料は仕様書とおりで、適正であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

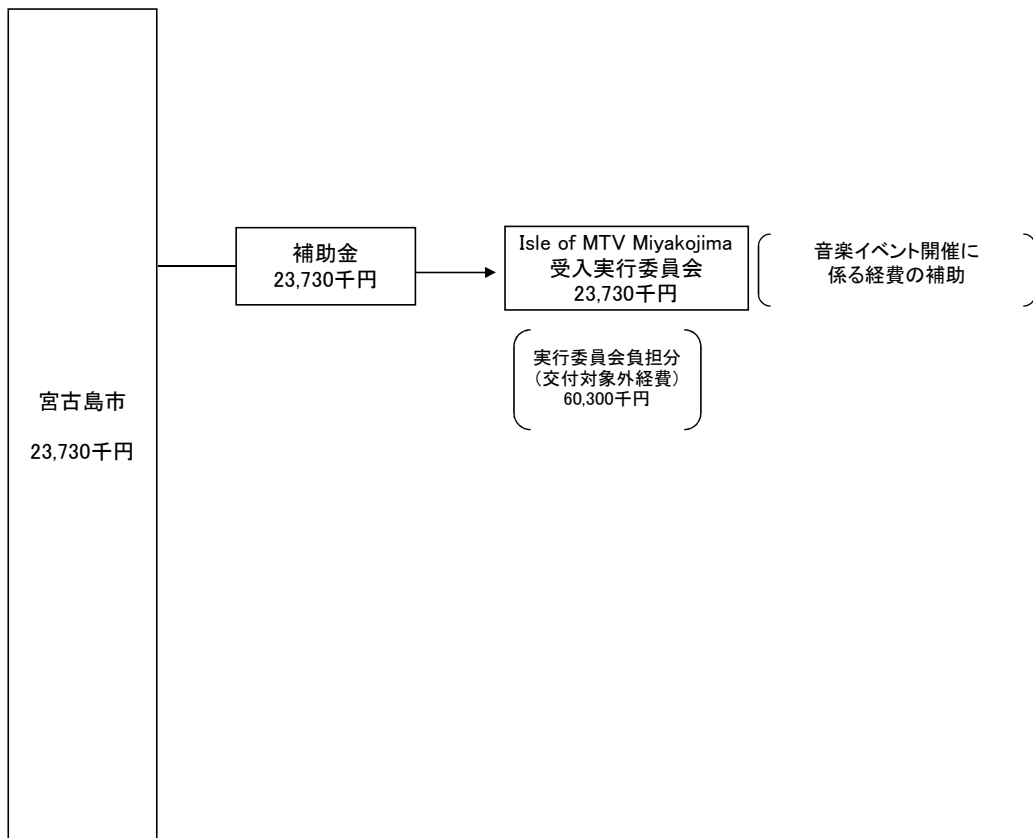


市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	誘客プロモーション事業(MTV)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	観光商工局観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	効果的な誘客を促進するため、アジア最大級を目標とした新たな音楽イベントを開催するための取り組みに対し、補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,730				
		(b) 予算現額	23,730				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計(b+d)		23,730	0			
	B. 執行済額		23,730				
	うち交付金充当額		18,984				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額もなく、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	音楽イベントの開催支援 (アイルオブ・MTV・ミヤコジマ)	目標	( )	( )	( )	( )	
		実績	音楽イベントの開催支援				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
	達成状況説明	補助金を交付した音楽イベント(アイルオブ・MTV・ミヤコジマ)は成功を収め、誘客効果も一定の成果があったと考えている。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(31年度)
	音楽イベント参加者数 (アイルオブ・MTV・ミヤコジマ)	目標	( - )	( 4,500人 )	( )	( )	( - )
		実績		4,506人			
	【参考指標】						
	宮古島市入域観光客数 (独自調査)	目標	( 332,473人 )	( 400,000人 )	( )	( )	( 500,000人 )
		実績		413,654人			
進捗状況説明	目標に掲げたイベント参加者数4,500人を達成しており、音楽イベント(アイルオブ・MTV・ミヤコジマ)は成功を収めたと考えている。また、このような大規模な音楽イベントを開催したことで、平成24年度は観光入域客数も増加しており、誘客効果についても一定の成果があったと考える。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は誘客の面では一定の成果を上げており、引き続き離島における効果的な誘客活動を展開する必要があると考える。	誘客効果に関しては一定の成果があり、改善面は特にないが、今後は誘客活動と合わせて観光消費額を増加させる取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
今後は誘客活動の他、受け入れ施設や人によるサービスの品質向上により、客単価を上げ、観光消費額を増加させる仕組みづくりに取り組んでいくことが重要である。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
84,030	23,730	18,984	4,746	60,300



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○イベントの開催について(予算規模も含む)、実行委員会とは綿密な調整を図っており、信頼性もあるため、支出先としては妥当であると考えている。また、予算規模・事業費の負担関係も行政側への偏りがなく妥当であると考え。○費目・使途については事業目的達成の観点から審査を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

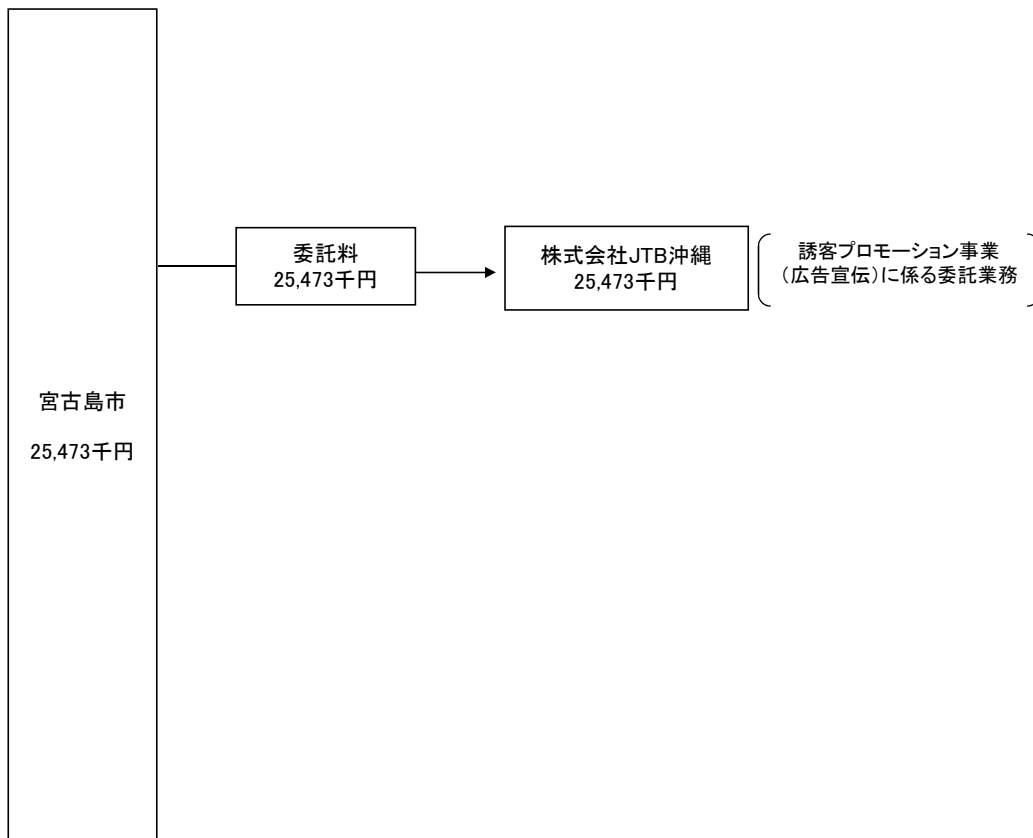
市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 誘客プロモーション事業（広告宣伝）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	担当部課名	観光商工局観光課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	県内外へ観光地としての情報を積極的に発信し、観光入域客数50万人を達成するため、沖縄県内のモノレール及び県外の鉄道車輛等への広告宣伝活動を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,721				
		(b) 予算現額	25,473				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 248				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		25,473	0			
	B. 執行済額		25,473				
	うち交付金充当額		20,378				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額もなく、当初計画していた事業内容は概ね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	広告宣伝による誘客活動 ①県内での広告宣伝活動 ・モノレール車両での広告宣伝	目標	モノレール車両での広告宣伝の実施	( )	( )	( )	( )
		実績	モノレール車両及び駅内での広告宣伝の実施				
	広告宣伝による誘客活動 ①県内での広告宣伝活動 ・県庁前スーパービジョンでのCM放映	目標	県庁前スーパービジョンでのCM放映	( )	( )	( )	( )
		実績	県庁前スーパービジョンでのCM放映				
	広告宣伝による誘客活動 ②県外での広告宣伝活動 ・鉄道車両での広告宣伝 首都圏エリア：JR東日本・東京メトロ	目標	県外鉄道車両での広告宣伝の実施（JR東日本・東京メトロ）	( )	( )	( )	( )
		実績	県外鉄道車両での広告宣伝の実施（JR東日本・東京メトロ）				
	広告宣伝による誘客活動 ②県外での広告活動 ・鉄道車両での広告宣伝 関西エリア：JR西日本・大阪地下鉄	目標	県外鉄道車両での広告宣伝の実施（JR西日本・大阪地下鉄）	( )	( )	( )	( )
		実績	県外鉄道車両での広告宣伝の実施（JR西日本・大阪地下鉄）				
達成状況説明		【県内での広告宣伝】 モノレール内で中吊り広告（7枠84枚6週間～7週間）や駅の階段でのステップ広告を行った結果（4駅6週間）、効果的な宣伝が実施できた。また、県庁前スーパービジョンでも2種類の観光CMを50日間放映し、航空運賃の低減化により「安くなった・近くなった宮古島」を効果的に宣伝できた。 【県外での広告宣伝】 首都圏・関西圏ともに通勤路線を中心に、長期的かつポスターサイズが大きい「まど上」ワイドに寒波で厳しい寒さだった2月の1ヶ月間に集中して広告宣伝を行い、「本土より暖かい宮古島の特性を活かしたメッセージ」を効果的に発信することができた。					

H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (31年度)
広告宣伝による誘客活動 ①県内での広告宣伝活動 ・モノレール車両での広告宣伝	目標	( - )	(モノレール車両での広告宣伝の実施)	( )	( )	( - )
	実績		モノレール車両及び駅内での広告宣伝の実施			
広告宣伝による誘客活動 ①県内での広告宣伝活動 ・県庁前スーパービジョンでのCM放映	目標	( - )	(県庁前スーパービジョンでのCM放映)	( )	( )	( - )
	実績		県庁前スーパービジョンでのCM放映			
広告宣伝による誘客活動 ②県外での広告活動 ・鉄道車両での広告宣伝 首都圏エリア:JR東日本・東京メトロ	目標	( - )	(県外鉄道車両での広告宣伝の実施(JR東日本・東京メトロ))	( )	( )	( - )
	実績		県外鉄道車両での広告宣伝の実施(JR東日本・東京メトロ)			
広告宣伝による誘客活動 ②県外での広告活動 ・鉄道車両での広告宣伝 関西エリア:JR西日本・大阪地下鉄	目標	( - )	(県外鉄道車両での広告宣伝の実施(JR西日本・大阪地下鉄))	( )	( )	( - )
	実績		県外鉄道車両での広告宣伝の実施(JR西日本・大阪地下鉄)			
【参考指標】 宮古島市入域観光客数 (独自調査)	目標	( 332,473人 )	( 400,000人 )	( )	( )	( 500,000人 )
	実績		413,654人			
進捗状況説明	県内及び県外で広告宣伝活動を実施したことにより、平成24年度の観光入域客数は前年度比で約24%(81,181人)伸びており、誘客効果も一定の成果があったものと考えられる。また、今年度も事業効果が大きいに期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業実施が年度半ばからとなったため、夏場の観光シーズン前の誘客活動が実施できなかった。	年度当初から、1年を通して誘客活動を実施することにより、より効果的な誘客活動が展開できる。
今後の取り組み方針		
<p>今後は効果的な誘客活動を実施しながら、受け入れ施設や人によるサービスの品質向上を図り、客単価を上げ、観光消費額を増加させる仕組みづくりに取り組む必要がある。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
25,473	25,473	20,378	5,095	



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の実施にあたっては、委託業者と事業立案の段階から綿密な調整を図っており、また、企業組織、実績、知識等の面からも信頼性があり、支出先としては妥当であると考えている。また、予算規模についても事業の効果を鑑みると妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から事業完了後に検査を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	誘客プロモーション事業（純と愛）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	観光商工局観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	効果的な誘客を促進するため、連続テレビ小説「純と愛」を通して、宮古島市の魅力を広くPRするための取り組みに対し補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	8,000					
	(b) 予算現額	8,000					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	8,000	0				
	B. 執行済額	8,000					
	うち交付金充当額	6,400					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況	予算の状況の説明    不用額もなく当初計画していた事業内容は実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であると考えている。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ①番組制作支援事業：セレモニー等開催数	目標	( 2回 )	( )	( )	( )	
		実績	2回				
	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ②関連イベント協働事業：パネル展等開催数	目標	( 3回 )	( )	( )	( )	
		実績	2回				
	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ③告知、広報事業：幟・タペストリー等実施	目標	( 告知・広報活動 )	( )	( )	( )	
		実績	告知・広報活動				
	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ④産業振興支援事業：大正区鶴浜フェスタ参加（物産展・パネル展）	目標	( 大正区鶴浜フェスタ参加 )	( )	( )	( )	
		実績	大正区鶴浜フェスタ参加				
達成状況説明	補助金を交付した「純と愛」推進協議会は、計画内容をほぼ実施しており誘客効果も一定の成果があったと考えている。						
H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（31年度）	
	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ①番組制作支援事業：セレモニー等開催数	目標	( — )	( 2回 )	( )	( )	( — )
		実績		2回			
	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ②関連イベント協働事業：パネル展等開催数	目標	( — )	( 3回 )	( )	( )	( — )
		実績		2回			

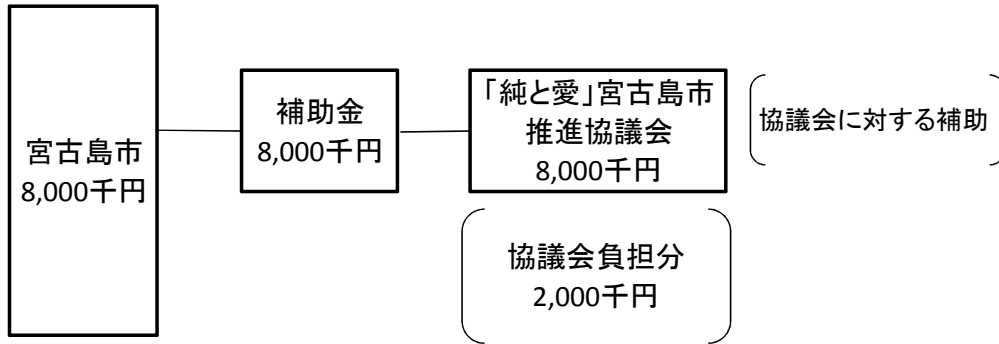
成果目標 (指標) 及び進捗状況	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ③告知、広報事業:幟・タペストリー等実施	目標	( - )	( 告知・ 広報活動 )	( )	( )	( - )
		実績	告知・広報活動				
	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ④産業振興支援事業:大正区鶴浜フェスタ 参加(物産展・パネル展)	目標	( - )	( 大正区鶴浜 フェスタ参加 )	( )	( )	( - )
		実績	大正区鶴浜フェ スタ参加				
	【参考指標】 宮古島市入域観光客数 (独自調査)	目標	( 332,473人 )	( 400,000人 )	( )	( )	( 500,000人 )
		実績	413,654人				
進 捗 状 況 説 明	目標に掲げた内容は実施している、テレビ放映の効果もあり観光客も増加しつつある。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組 の 検 証	今後については、ロケ地などを観光地のPR材料にしながら、誘客活動に繋げていきたい。	改善面は特にはないが、今後誘客活動と合わせて観光消費額を増加させる取り組みが必要と考える。
<b>今後の取り組み方針</b>		
今後誘客活動と合わせて観光消費額を増加させる取り組みが必要と考える。		

**資金の流れ**

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
10,000	8,000	6,400	1,600	2,000



資金の 使途の 流れ、 点検 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	協議会は宮古島市の観光産業に従事する各種団体で構成されており、事務局を宮古島市・宮古島商工会議所が勤めており支出先の選定方法は妥当であるとする。 また予算規模、費目・使途についても、実績報告等により適正であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		宮古島市				
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-⑤		観光振興事業補助金(観光協会)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ
	担当部課名	観光商工局観光課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容	観光協会の活動を支援し、観光振興を図るため、観光協会に対し補助金を交付する。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a) 当初予算額	5,541			
	(b) 予算現額	5,541				
	(c) 増減額(b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計(b+d)	5,541	0			
	B. 執行済額	5,541				
	うち交付金充当額	4,432				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	不用額もなく、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	誘客活動等への支援 ①誘客宣伝活動数	目標	( 県内2回 県外2回 )	( )	( )	( )
		実績	県内2回 県外2回			
	誘客活動等への支援 ②研修会開催数	目標	( 2回 )	( )	( )	( )
		実績	3回			
	誘客活動等への支援 ③観光地浄化対策の実施数	目標	( 2回 )	( )	( )	( )
		実績	2回			
	誘客活動等への支援 ④観光案内所パンフ送付回数	目標	( 120回 )	( )	( )	( )
		実績	120回			
誘客活動等への支援 ⑤調査研修の実施数	目標	( 12回 )	( )	( )	( )	
	実績	24回				
誘客活動等への支援 ⑥民泊事業者の育成:研修会開催数	目標	( 3回 )	( )	( )	( )	
	実績	3回				
達成状況説明	①・協会会員で組織している各会で関東エリア、関西エリアを中心に国内各地の各旅行会社支店などへ誘客キャラバンを実施。・各旅行支店店頭販売員の宮古島モニターの実施。・宮古島へのゴルフ客誘客のため、宮古管内だけのゴルフ場を紹介したゴルフ専門雑誌社に作成を依頼し、各旅行会社に配布するとともに、作成雑誌社から国内各地のゴルフ場に配布。・海外からのマスメディアの招聘。②修学旅行の受け入れ民家に対し、受け入れ時の研修(緊急蘇生法)の実施。職員研修にかかる研修会の実施。③海開きの事前美化活動として協会員やボランティアでビーチクリーンを実施し、市民や観光に携わる方々の意識啓発に繋がる取り組みとなっている。④観光案内所では、空港案内カウンターでの観光客への対応及び観光地の紹介、レンタカー手配の手伝いや宿泊施設の紹介など観光全般に係る対応業務を実施し、観光客の利便性の向上に繋がった。⑤観光動向調査、民泊稼働率の調査の実施。⑥協会青年部に対して観光全般の勉強会及び県内各地の観光協会青年部との会議に参加し、市の観光をリードする人材の育成。					

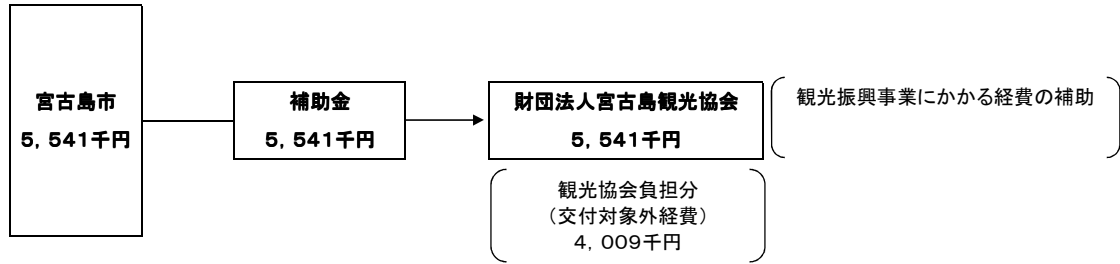
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (31年度)
	誘客活動等への支援 ①誘客宣伝活動数	目標	( - )	( 県内2回 県外2回 )	( )	( )	( )
	実績		( 県内2回 県外3回 )				
誘客活動等への支援 ②研修会参加者数	目標	( - )	( 38人 )	( )	( )	( )	( - )
	実績		38人				
誘客活動等への支援 ③観光地浄化対策参加者数	目標	( - )	( 80人 )	( )	( )	( )	( - )
	実績		80人				
誘客活動等への支援 ④観光案内所パンフ送付回数	目標	( - )	( 120回 )	( )	( )	( )	( - )
	実績		120回				
誘客活動等への支援 ⑤調査研修の実施数	目標	( - )	( 12回 )	( )	( )	( )	( - )
	実績		24回				
誘客活動等への支援 ⑥民泊事業者育成数	目標	( - )	( 10人 )	( )	( )	( )	( - )
	実績		10人				
【参考指標】 宮古島市入域観光客数 (独自調査)	目標	( 332,473人 )	( 400,000人 )	( )	( )	( )	( 500,000人 )
	実績		413,654人				
進捗状況説明	各種事業の実施により、観光振興が図られ、産業と文化の向上並びに地域の経済活性化に寄与することが出来、観光客の誘致に繋がると考える。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		各事業ともに観光協会が実施することで、効率よく事業を実施できると考え、問題点は特になしです。
<b>今後の取り組み方針</b>		
本市が掲げている入域観光客数50万人を達成させるためには、平成25年度においても観光誘客活動の強化が必要であることから、宮古島観光協会の活動を支援し、観光誘客活動を強化していきたい。		

**資金の流れ**

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
9,550	5,541	4,432	1,109	4,009



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光振興を図る為に、観光協会の活動を支援する事を目的としている為、補助金交付先は妥当であったと考えている。 ○予算規模についても事業計画書等の審査した結果、事業に見合った適正な規模となっている。 ○費目・使途については、事業目標達成の観点から審査を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部署名	観光商工局商工物産交流課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	島外から多くの参加者が訪れる「南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	1,000					
	(b) 予算現額	1,000					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	1,000	0				
	B. 執行済額	1,000					
	うち交付金充当額	800					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	不要額もなく当初予定していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の開催支援	目標	( 開催支援 )	( )	( )	( )	
		実績	開催支援				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	不要額もなく当初予定していた事業内容はすべて実施した。活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の参加者数	目標	( )	( 400人 )	( )	( )	( )
		実績		384人			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	目標に掲げたイベント参加者数には若干足りなかったが本大会は成功に終了したと考える。また島外から173人が参加しており、一定の誘客効果成果があったと考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本事業は誘客の面では一定の成果を上げており、引き続き離島における効果的な誘客活動を展開する必要がある。</p>	<p>誘客効果に関しては一定の成果があり、改善面は特にないが、今後は誘客活動と合わせて観光消費額を増加させる取り組みが必要である。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>今後は効果的な誘客活動を実施しながら、観光消費額を増加させる仕組みづくりに取り組む必要がある。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,622	1,000	800	200	2,622

```

graph LR
    A[宮古島市  
1,000千円] --> B[補助金  
1,000千円]
    B --> C[グラウンド・ゴルフ宮古  
島大会実行委員会  
1,000千円]
    C --- D[実行委員会負担金  
(交付対象外経費)  
2,622千円]
    E[イベント開催に係る経費の補助] --- C
  
```

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○事業実施実行委員会への支出であり、適正であったと考える。○活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であったと考える。 ○実行委員会においても一定の費用を負担しており、適正であったと考える。 ○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑦	エコアイランド宮古島マラソン大会補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部署名	観光商工局商工物産交流課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b> (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		3,000				
			3,000				
			0				
			－				
			3,000	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		3,000				
			2,400				
			0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明	不用額もなく当初予定していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	エコアイランド宮古島大会の開催支援	目標	( 開催支援 )	( )	( )	( )	
		実績	開催支援				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	補助金を交付したエコアイランド宮古島マラソンは成功を収め、誘客効果も一定の成果があったと考える。補助金の使途としては、当初の計画どおり執行されている。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	エコアイランド宮古島大会の参加者数	目標	( )	( 1,000人 )	( )	( )	( )
		実績		941			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	目標に掲げたイベント参加者数には若干足りなかったが本大会は成功に終了したと考える。また本大会のコース変更に伴い島外から471名が参加しており、一定の誘客効果があったと考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は、誘客の面では一定の成果を上げており、引き続き離島における効果的な誘客活動を展開する必要がある。	誘客効果に関しては一定の成果があり、改善面は特にないが、今後は誘客活動と合わせて観光消費額を増加させる取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
今後は効果的な誘客活動を実施しながら、観光消費額を増加させる仕組みづくりに取り組む必要がある。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	12,597	3,000	2,400	600	9,597
<pre> graph LR     A[宮古島市 3,000千円] -- 補助金 3,000千円 --&gt; B[エコアイランド宮古島 マラソン実行委員会 3,000千円]     B --- C["(イベント開催に係る 経費の補助)"]     B --- D["(実行委員会負担金 (交付対象外経費) 9,597千円)"] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施実行委員会への支出であり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○実行委員会においても一定の費用を負担しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑧	サニツ浜カーニバル補助金			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	観光商工局商工物産交流課	事業実施（予定）年度	平成24～23年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	夏期シーズンのイベントとして定着している「サニツ浜カーニバル」の開催を支援するため、補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	1,254				
		(b) 予算現額	1,254				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,254	0			
	B. 執行済額		1,254				
	うち交付金充当額		1,003				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額はなく当初予定していた事業内容はすべて実施されており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	サニツ浜カーニバルの開催支援	目標	( 開催支援 )	( )	( )	( )	
		実績	開催支援				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	補助金を交付したサニツ浜カーニバルは成功を収めており、補助金の使途としては当初の計画通り執行されている。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	サニツ浜カーニバルの参加者数	目標	( )	( 1,100人 )	( )	( )	( )
		実績		1039			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	目標に掲げたイベント参加数もほぼ達成しており成功は収めたと考えられる。					



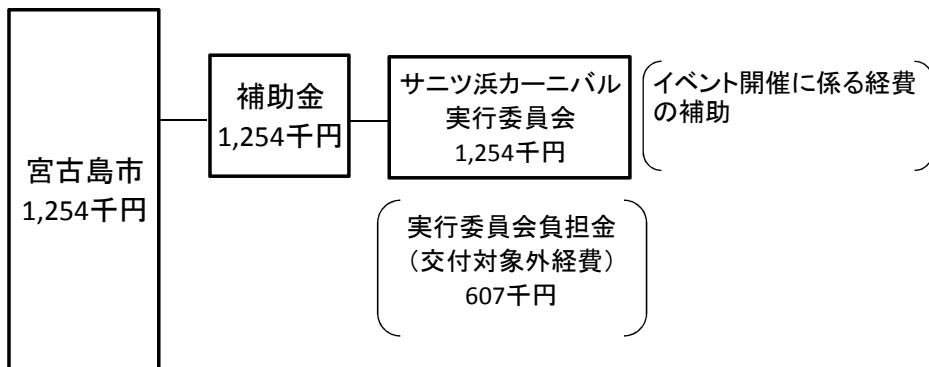
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本イベント開催地である与那覇湾(サニツ浜)は、平成24年5月にラムサール条約に登録され、国内外において注目を集めており、継続的なイベント開催による誘客活動を展開する必要がある。	ラムサール条約登録を受け、新たな競技の検討、広報活動を再検討し、誘客活動を実施する必要がある。

**今後の取り組み方針**

平成25年度開催に対しては、記念イベントとして位置づけ、新たな競技・記念ライブを取り入れ、観光誘客を推進し観光振興に努める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,861	1,254	1,003	251	607



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施実行委員会への支出であり、適正であった。 ○活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であった。 ○実行委員会においても一定の費用を負担しており、適正であった。 ○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑨	宮古島100kmワイドーマラソン大会補助金	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ			
担当部署名	観光商工局商工物産交流課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	島外から多くの参加者が訪れる「宮古島100kmワイドーマラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	1,609				
		(b) 予算現額	1,609				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,609	0			
	B. 執行済額		1,609				
	うち交付金充当額		1,287				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額もなく当初予定していた事業内容はすべて実施した。活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	宮古島100kmワイドーマラソン大会の開催支援	目標	( 開催支援 )	( )	( )	( )	
		実績	開催支援				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	補助金を交付した宮古島100kmワイドーマラソンは成功を収め、誘客効果も一定の成果があったと考える。補助金の使途としては、当初の計画通り執行されている。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	宮古島100kmワイドーマラソン大会の参加者数	目標	( )	( 1,200人 )	( )	( )	( )
		実績		1,146人			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	目標に掲げたイベント参加者数には若干足りなかったが本大会は成功に終了したと考える。また島外から854名が参加しており、一定の誘客効果があったと考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は、誘客の面では一定の成果を上げており、引き続き離島における効果的な誘客活動を展開する必要がある。	誘客効果に関しては一定の成果があり、改善面は特にないが、今後は誘客活動と合わせて観光消費額を増加させる取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
今後は効果的な誘客活動を実施しながら、観光消費額を増加させる仕組みづくりに取り組む必要がある。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	12,464	1,609	1,287	322	10,855
<pre> graph LR     A[宮古島市 1,609千円] -- 補助金 1,609千円 --&gt; B[宮古島100kmワイドマラソン 実行委員会 1,609千円]     B -- 実行委員会負担金 (交付対象外経費) 10,855千円 --&gt; C[ ]     subgraph Note [ ]     D[イベント開催に係る経費の補助]     end     </pre>					

資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施実行委員会への支出であり、適正であった。 ○活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であった。 ○実行委員会においても一定の費用を負担しており、適正であった。 ○費用・用途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	電気自動車充電設備設置補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
担当部課名	企画政策部エコアイランド推進課	事業実施（予定）年度	平成24～平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本市の観光利用される施設に電気自動車の充電設備を設置する者に対し、設置に係る費用の一部を補助することで、電気自動車の普及促進と利用者の利便性の向上を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		1,000				
			1,000				
			0				
			-				
		1,000	0				
	B. 執行済額	152					
	うち交付金充当額	121					
	次年度繰越額	0					
	執行率（%）(B/A)	15.2%					
予算の状況の説明	平成24年度の設置目標件数を5件としたが、事業者からの申請件数が2件と少なかった為、執行率が低くなった。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	電気自動車充電施設設置補助	目標	( 設置補助 )	( )	( )	( )	
		実績	設置補助				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	充電設備が不特定多数の利用に供する事が出来るよう、宮古島市内の事業所への設置を予定し、2件の事業所に充電設備を設置した。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	電気自動車充電施設設置補助	目標	( )	( 5件 )	( )	( )	( )
		実績		2件			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	事業者の充電設備設置へ関心が未だ醸成してないことから設置件数は2件であったが、設置により電気自動車利用者の電欠不安がある程度解消され、今後の電気自動車普及に貢献できるものとする。					

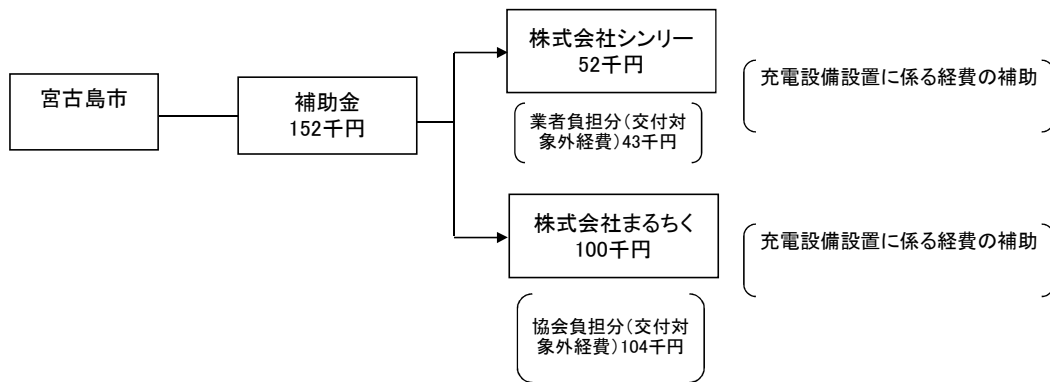
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	電気自動車の普及状況等が、事業者からの充電設備設置補助の申請件数に影響すると思われる。	電気自動車・充電設備設置の普及推進を同時に行っていく必要があると思われる。

**今後の取り組み方針**

宮古島市では、電気自動車充電設備設置補助事業を平成23年度から実施しており、平成24年度も含めある程度の成果を得たことから平成24年度で終了するものとする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

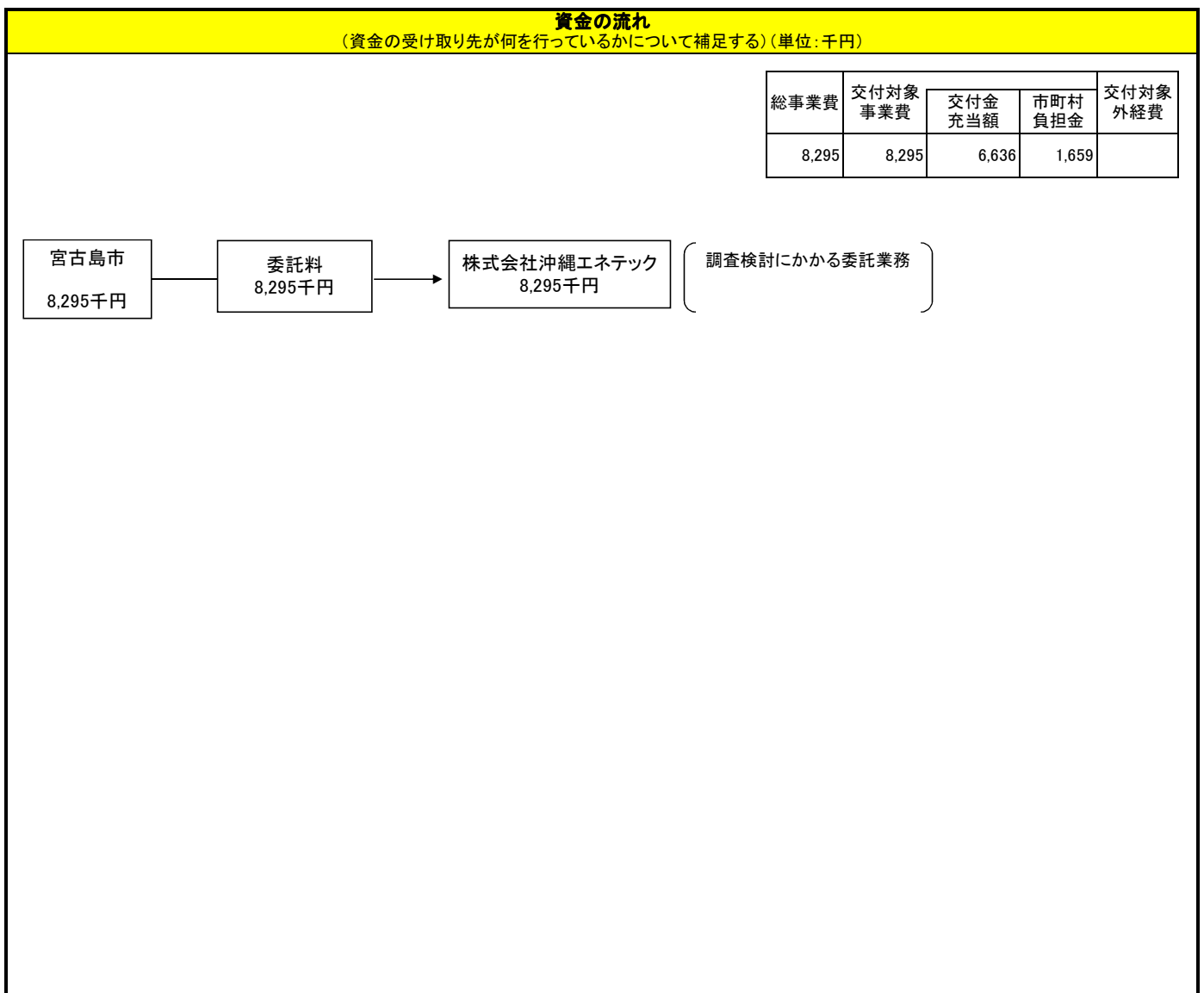
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
300	152	121	31	148



資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付要綱に基づき市内に事業所が所在する事業者とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は平成23年度の設置件数等を勘案し設定した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、設備設置掛かる経費を考慮し、補助額は経費の1/2、上限額を100千円とした。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途は事業目的達成の観点から必要性等について額の確定時において支出等に関する書類により確認した。

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑤	農業産業化プラットフォーム整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
担当部課名	企画政策部エコアイランド推進課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	再生可能エネルギーを活用した植物工場を構築し、安定・計画生産を実現することにより、生産、加工、流通、小売及びエコアイランドのブランド化までを一体とした新たな産業モデルの構築を目指すとともに、人材育成や事業化支援を行うプラットフォームの構築に向けた各種調査等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		10,000				
			8,295				
			▲ 1,705				
			－				
			8,295	0			
	B. 執行済額		8,295				
	うち交付金充当額		6,636				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初予算額に対して、不要額が1,705千円発生しているが、委託費の入札残（プロポーザル方式）によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	植物工場やその事業化可能性に関する調査検討の実施	目標	( 調査検討 )	( )	( )	( )	
		実績	調査検討				
	達成状況説明	目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
1生産品目に関する調査、2生産施設・設備に関する調査（密閉型/ハウス型等）、3植物工場におけるエネルギー供給に関する調査、4島内における加工業及び流通業との連携可能性調査、5プラットフォーム整備に関する検討、6波及効果に関する検討・評価、7モデル事業を実施する上での検証項目の検討・立案等を実施した。現状・課題の整理を実施し、報告書としてまとめた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	植物工場やその事業化可能性に関する調査検討の実施	目標	( )	( 調査検討 )	( )	( )	( - )
		実績		調査検討			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明		目標の通り、調査検討を実施し、成果を収めた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業者を選定するための公募の段階から、検討すべき課題を具体的に項目だてたことから、事業者からの提案が具体性を持ち、事業の目的に沿った業務を遂行することができた。	業務は、目的を達成したため、改善の余地はないものとする。
今後の取り組み方針		
調査検討結果に基づき、具体的な事業の立案を行う。		



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により組織体制、実績、経験等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 ○予定した事業内容は全て実施できており、予算規模は適正であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 宮古島市

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名 6-① ヤソ防除事業 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第5章-3-(4)-イ

担当部署名 農林水産部農政課 事業実施(予定)年度 平成24~28年度 沖縄振興基本方針該当箇所 拠点都市機能の充実 III-1-(1)

事業内容 さとうきびを野その被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。

実施方法 ■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ( )

Table with columns for years (24-28) and rows for budget status (a-d), total budget, execution amount, and execution rate.

Table for activity goals and achievement status, including H24 activity goals and achievement status for air and ground defoliation.

Table for achievement goals and progress status, including H24 achievement goals and progress status for air and ground defoliation.

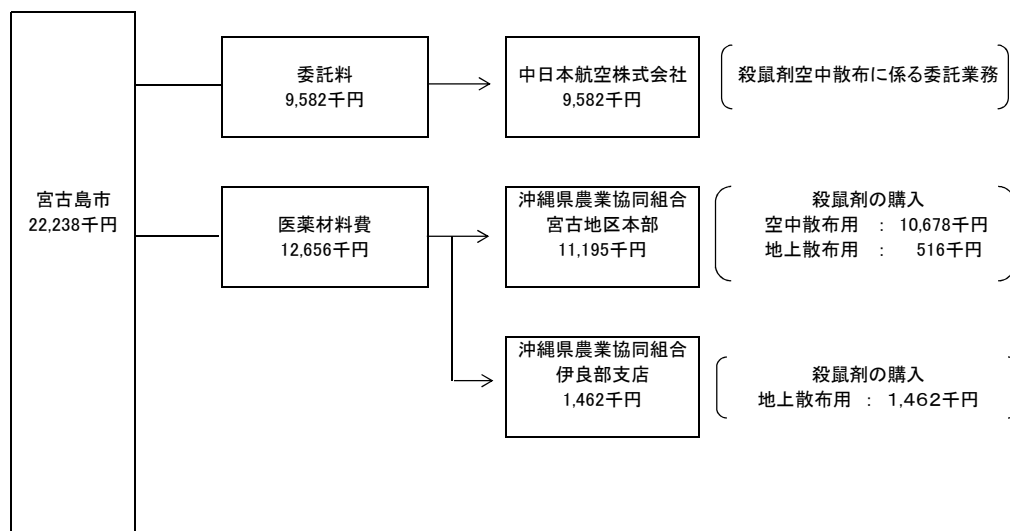
進捗状況説明 ・航空防除の実施により、野その被害が軽減し、農家の生産意欲向上が図られた。 ・25年度からは伊良部島も航空防除を実施予定。



取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1. 薬剤の空中散布なので農家への周知を徹底する必要がある。 2. 薬剤を散布できない牧草地等からの野その侵入をどう防ぐか。 3. 現在、池間島においては人力による地上防除なので、さらに効率化を図る必要がある。 4. 市街地に点在する農地への薬剤空中散布が困難。	・航空防除の出来ない池間島では農家に協力してもらい一斉防除する。 ・事業実施時期の再確認。 ・市街地や畜舎周辺等航空散布が困難な農地を所有する農家へ薬剤配布の周知を図る。
今後の取り組み方針		
・池間島での防除は農家へ事前に周知し、一斉防除の際に協力してもらい一斉防除を実施する。 ・市街地周辺の薬剤散布が困難な地域の希望農家へ薬剤を配布し、防除してもらう。 ・伊良部島においては今年度から航空防除を実施する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,238	22,238	17,791	4,447	



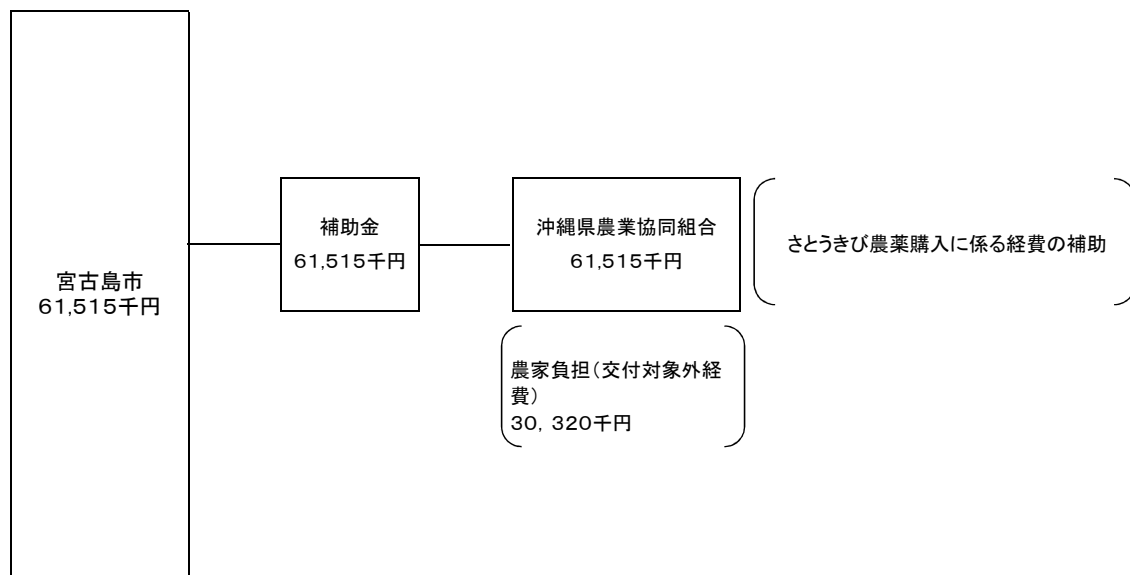
資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は、薬剤の代理店及び配送業務等の対応が可能な団体がJAIに限られ、空中散布作業委託についても空中散布可能な装置を所有しているのが一社に限られているため、選定は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・計画どおり事業が実施でき、計画目標も達成されているため、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については、事業完了報告書によって確認し適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

<b>市町村名</b>		宮古島市					
<b>平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	6-②	さとうきび病害虫防除用農薬購入補助事業		<b>沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所</b>	第5章-3-(4)-イ		
<b>担当部課名</b>	農林水産部農政課	<b>事業実施（予定）年度</b>	平成24～25年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b>	拠点都市機能の充実 Ⅲ-1-(6)		
<b>事業内容</b>	さとうきび病害虫の被害を防止することを目的に、新たな農薬を用いた防除体系を確立し、生産性の向上を図るため、生産農家を対象に農薬購入補助を行う。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額【単位：千円】</b> （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	62,370				
		(b) 予算現額	62,370				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		62,370	0			
	B. 執行済額		61,515				
	うち交付金充当額		49,212				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		98.6%				
予算の状況の説明		平成24年度の補助率は67%であり、執行率も高く、予算は適正に処理された。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	基幹作物（さとうきび）の安定生産の確保 ・春植え・株出し用農薬購入補助：計画面積	目標	( 750ha )	( )	( )	( )	
		実績	739ha				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	活動目標750haに対し実績は739haであり、目標はほぼ達成された。（補助農薬受取件数1,819件、数量26,726袋）						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	基幹作物（さとうきび）の安定生産の確保 ・春植え・株出し用農薬購入補助：計画面積	目標	( )	( 750ha )	( )	( )	( )
		実績		739ha			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	これまで土壌病害虫による被害を受け、減産を余儀なくされてきた経緯があるが、プリンスペイト粒剤の使用により、収穫後の萌芽率向上とともに株出し面積の増加が予想される。また、夏植え一辺倒の栽培から春植・株出し栽培に推移しつつある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・農家に対してプリンスベイト剤の適正使用量の周知が徹底されておらず、過剰散布しているケースが散見された。</p>	<p>・さとうきび栽培指針によるプリンスベイト剤の適正使用の周知を図っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>農薬が適正に使用されるように、チラシやパンフレット等を継続して作成・配布し、効果的な農薬使用によるさとうきびの生産性向上を図る。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
91,836	61,515	49,212	12,303	30,320



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・JAおきなわが薬剤の代理店となっており、配達業務まで対応可能な団体がJAおきなわに限られているため、選定は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・当初計画にそって実施し、達成率も高く適正な規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者との負担関係は宮古島市さとうきび農薬購入補助金交付規程第3条により適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、事業完了報告書によって確認し適正であった。

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③ 甘藷(イモ)を活用した6次産業化モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-イ		
	担当部課名	農林水産部農政課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	拠点都市機能の充実 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	宮古島産甘藷(イモ)の生産体制を強化し、ブランド化を図り、雇用を生み出す農業として確立するため、芋の生産に係る機械設備を導入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	33,705				
		(b) 予算現額	33,705				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	33,705	0			
	B. 執行済額		33,652				
	うち交付金充当額		26,922				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		99.8%				
予算の状況の説明		予定していた機械・設備・車両を購入することができ、予算は適正に処理された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:トラクター	目標	( 5台 )	( )	( )	( )	
		実績	5台				
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:ロータリー	目標	( 1台 )	( )	( )	( )	
		実績	1台				
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷移植機	目標	( 9台 )	( )	( )	( )	
		実績	9台				
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷つる切機械	目標	( 9台 )	( )	( )	( )	
		実績	9台				
甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷掘取機械	目標	( 9台 )	( )	( )	( )		
	実績	9台					
甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷収穫機	目標	( 10台 )	( )	( )	( )		
	実績	10台					
甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ②運搬トラック	目標	( 1台 )	( )	( )	( )		
	実績	1台					
甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ③プレハブ冷蔵庫	目標	( 1基 )	( )	( )	( )		
	実績	1基					

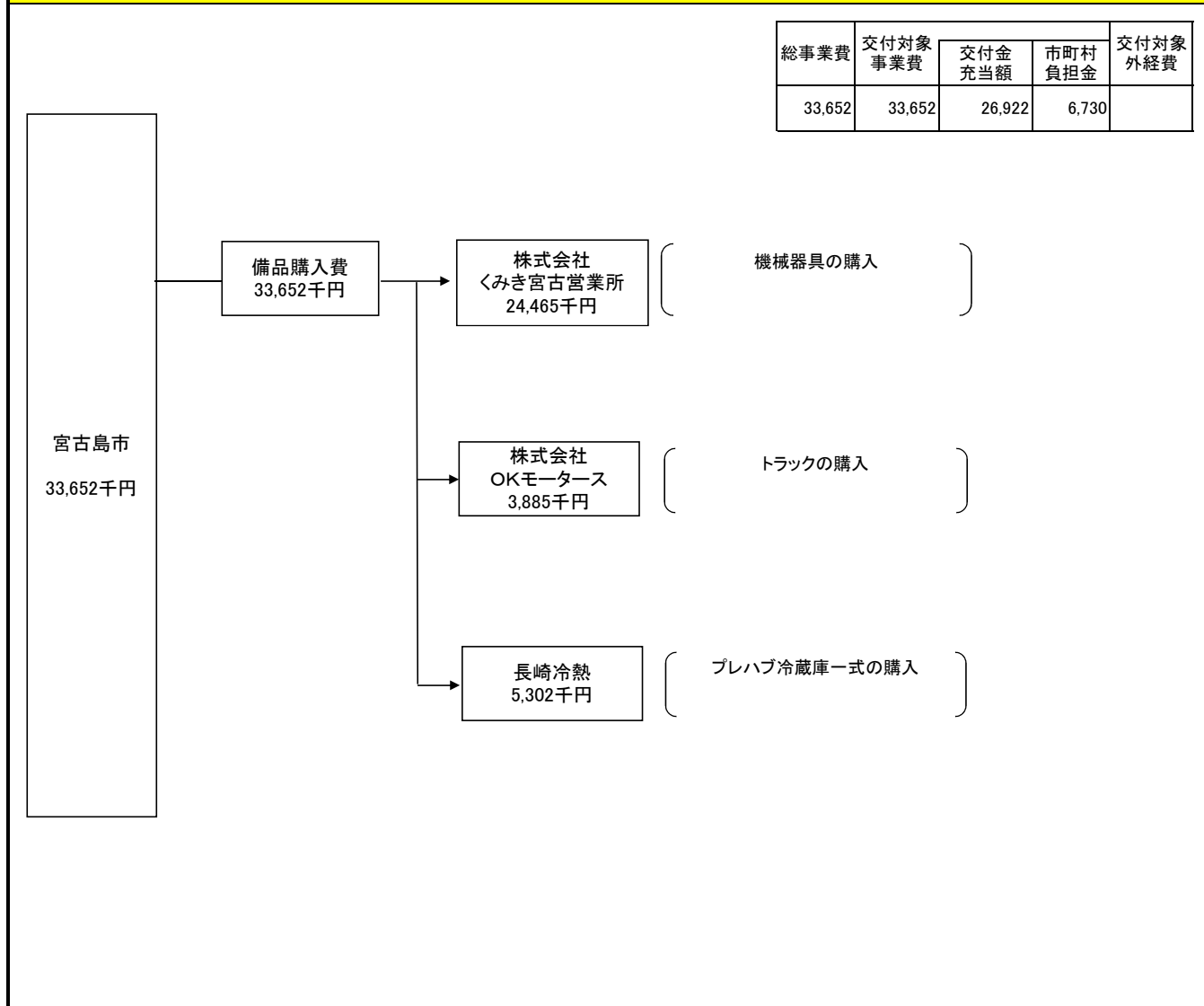
達成状況説明	各機械・設備・車両の導入を指名競争入札にて決定し導入した。						
	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
成果目標 (指標) 及び進捗状況	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:トラクター	目標	( )	( 5台 )	( )	( )	( )
		実績		5台			
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:ロータリー	目標	( )	( 1台 )	( )	( )	( )
		実績		1台			
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷移植機	目標	( )	( 9台 )	( )	( )	( )
		実績		9台			
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷つる切機械	目標	( )	( 9台 )	( )	( )	( )
		実績		9台			
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷掘取機械	目標	( )	( 9台 )	( )	( )	( )
		実績		9台			
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具:甘藷収穫機	目標	( )	( 10台 )	( )	( )	( )
		実績		10台			
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ②運搬トラック	目標	( )	( 1台 )	( )	( )	( )
		実績		1台			
	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ③プレハブ冷蔵庫	目標	( )	( 1基 )	( )	( )	( )
		実績		1基			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	各機械・設備・車両の導入を指名競争入札にて決定し導入した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>いも生産組合に機械の管理委託を行い、いも生産農家への機械貸し出しを優先的に行いたい。 また、機械利用者からの返却時の立ち合いを徹底し、機械に破損がないか不具合が生じていないかをその都度、確認していく必要がある。</p>	<p>機械利用者へ貸し出しする場合の条件や規則等を事前に利用者へ周知させることにより、機械の対応年数以上の利用をして頂く必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

宮古島市にて各機械等を購入し、いも生産組合へ貸し出しするが、機械の稼働状況や利用状況を生産組合から定期的に報告して頂く。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

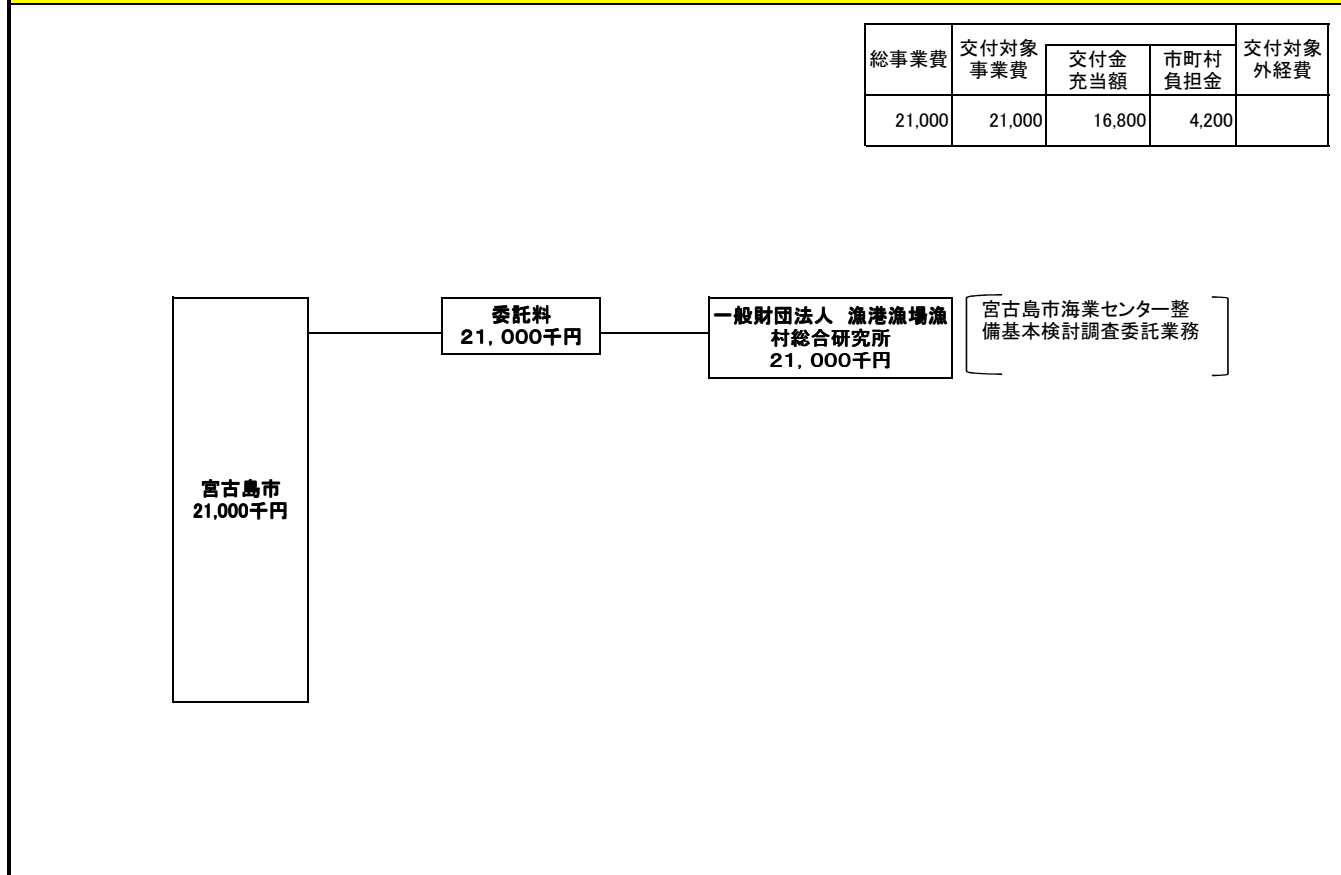


資金の 使途の 流れ・ 点検・ 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○指名競争入札による業者選定を行っており支出先選定は妥当である。 ○予定した事業内容は全て実施しており、予算規模は適正であった。 ○事業に必要な備品購入費に限定されていた。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

<b>市町村名</b>		宮古島市					
<b>平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	6-⑥	宮古島市海業センター整備基本計画検討調査事業			<b>沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所</b>	第5章-3-(4)-イ	
<b>担当部署名</b>	農林水産部水産課	<b>事業実施（予定）年度</b>	平成24年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b>	拠点都市機能の充実 Ⅲ-1-(6)		
<b>事業内容</b>	宮古島地域の栽培漁業を行う海業センターの役割を再検討し、今後の栽培漁業の方向性や可能性を探ることを目的に、検討調査を実施した。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,000				
		(b) 予算現額	21,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	21,000	0			
	B. 執行済額		21,000				
	うち交付金充当額		16,800				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施済み。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	宮古島市海業センター整備基本計画策定	目標	( 基本計画策定 )	( )	( )	( )	
		実績	基本計画策定				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	宮古島市海業センターにおける総合的な機能及び役割等を見直し、将来のあるべき施設としての検討調査を実施した。その成果を基に、今後の漁業生産性にリンクした種苗生産及び漁業者の育成に向けた方向性を得ることができた。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	宮古島市海業センター整備基本計画策定	目標	( — )	( 基本計画策定 )	( )	( )	( — )
		実績		基本計画策定			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	宮古島市海業センターにおける総合的な機能及び役割等を見直し、将来のあるべき施設としての検討調査を実施した。その成果を基に、今後の漁業生産性にリンクした種苗生産及び漁業者の育成に向けた方向性を得ることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	整備基本検討調査の結果、施設の老朽化、種苗生産魚種の選定、生産コストの軽減、漁業者育成のあり方の具体的方向性の検討等の課題を確認した。	整備基本検討調査の成果を基に、今後の海業センターの具体的整備に向けた検討委員会を開催する。
今後の取り組み方針		
整備基本検討調査で得られた成果を踏まえて、今後の海業センターの整備方針としては、平成25年度にこの検証結果を基に委員会を開催し、平成26年度以降に、実施設計及び事業実施をおこなう。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先との契約を随意契約とした理由は、同研究所が漁港、漁場及び漁村の計画、建設に関する総合的な技術の研究を目的として農林水産大臣の認可を受けている為である。 ○予定していた事業は全て実施済みであり予算規模は適正であった。 ○費目については、委託費のみであり支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		宮古島市									
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	8	伝統工芸産業振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-イ					
	担当部課名	観光商工局商工物産交流課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興 Ⅲ-3-(2)					
事業内容	本市の伝統工芸産業の振興に向けて、国の重要無形文化財に指定されている「宮古上布」の生産・保存・伝承を支援するため、織物事業協同組合に対し、補助金を交付する。										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）										
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		(a) 当初予算額	10,000								
		(b) 予算現額	10,000								
		(c) 増減額(b-a)	0								
		(d) 前年度繰越額	—								
	A. 計(b+d)		10,000	0							
	B. 執行済額		10,000								
	うち交付金充当額		8,000								
	次年度繰越額		0								
	執行率(%) (B/A)		100.0%								
予算の状況の説明		不用額もなく、当初計画していた事業内容は概ね実施した。									
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況								
			24年度		25年度		26年度		27年度		
	伝統工芸産業(宮古上布)の振興に向けた支援 ①新商品の開発	目標	( 新商品開発 )	( )	( )	( )	( )				
		実績	新商品開発								
	伝統工芸産業(宮古上布)の振興に向けた支援 ②国内外への販路拡大	目標	( 販路拡大 )	( )	( )	( )	( )				
		実績	展示会県外1回								
達成状況説明		①新ブランド「かぎつむ」作成。 ②県外展示会への誘客のため、冊子・チラシ・案内ハガキの作成、大使館、出版社、染織関係へ送付、都内わたしたショップ等でチラシの配布、新宿駅等へポスターの掲示、SNS、朝日新聞等への掲載。 ③販路拡大を目的に、都内において各関連団体と開催した展示会で、約150点の作品展示、素材展示、講演会・ワークショップの開催、アンケートの依頼。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)				
	伝統工芸産業(宮古上布)の振興に向けた支援 ①新商品の開発	目標	( )	( 新商品開発 )	( )	( )	( )				
		実績		新商品開発							
	伝統工芸産業(宮古上布)の振興に向けた支援 ②国内外への販路拡大	目標	( )	( 販路拡大 )	( )	( )	( )				
		実績		展示会県外1回							
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )				
実績											
進捗状況説明		当該事業実施により、伝統工芸品「宮古上布」の振興が図られた。宮古上布の着物、着尺、帯を史上最大数の展示により、圧倒的な存在PRできたともに、新ブランドを展示し、宮古上布の過去から未来への形を示せた。									

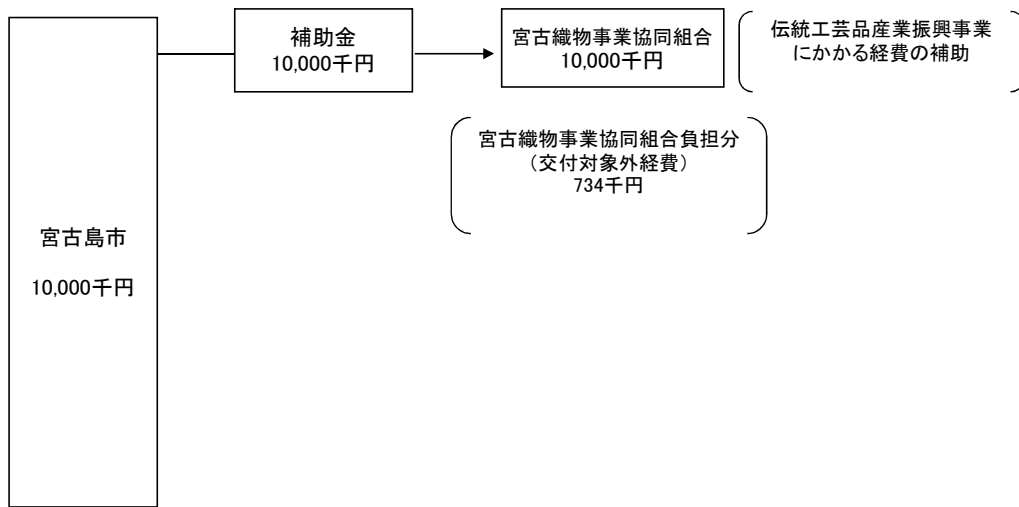
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	伝統工芸品振興事業は、宮古織物事業組合が実施することで、効率よく事業を実施できると考える。	従来の宮古上布と新ブランドを展示会により宣伝することができたが、準備期間が短く、販売にむけては耐久性(色落ち)等の確認が必要。

**今後の取り組み方針**

今事業により、現代のスタイルにマッチした製品生産することが可能であり、技術的な道筋は概ね達成。生産設備とマーケティングの充実により事業化は促進可能と考える。伝統の技術を保持しながら、新たな新商品の開発と更なる販路拡大に取り組む必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,734	10,000	8,000	2,000	734



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○伝統工芸品振興を図るために、宮古織物事業協同組合の活動を支援することを目的としている為、補助金交付先は妥当であった。 ○予定した事業は全て実施し、予算規模は適正であった。 ○事業受託者も一定の費用を負担しており、費用負担関係も適正であった。 ○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9	「結いの島」推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	福祉部児童家庭課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実		
事業内容	地域の子ども達に健全な遊びを与え、健康増進と情操を豊かにすることを目的として児童館建設にかかる設計業務を委託する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,571				
		(b) 予算現額	10,238				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 333				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		10,238	0			
	B. 執行済額		10,237				
	うち交付金充当額		8,190				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・予算執行率は100%であり、当初計画した活動目標及び成果目標を達成し、事業内容を実施できた。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	児童館建設のための実施設計	目標	( 実施設計 )	( )	( )	( )	
		実績	設計委託業務完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	地域の子ども達に健全な遊びを与え、健康増進と情操を豊かにすることを目的として上野児童館を建設するため、平成24年度は、地質調査、建築設計、外構設計等の設計委託業務行った。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	eoe		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	児童館建設のための実施設計	目標	( - )	( 実施設計 )	( )	( )	( - )
		実績		設計委託業務完了			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	上野児童館を建設するため、平成24年度は、地質調査、建築設計、外構設計等の設計委託業務を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>平成24年度は、平成25年度に完成を目指す上野児童館建設の設計委託業務を行った。委託業者を指名競争入札によって適正に選定した上、予定していた地質調査、建築設計、外構設計等の設計委託業務を全て完了した。推進上の問題は無かった。</p>	<p>平成24年度事業は予定通り完了しており、平成25年度の児童館建設・供用開始に向けて事業を進めていく。</p>

**今後の取り組み方針**

平成24年度事業で作成した設計を基に、平成25年度内に児童館の建設及び供用開始を予定している。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,237	10,237	8,190	2,047	

宮古島市 10,237千円 → 委託料 10,237千円 → 基建築設計事務所 下地 実 10,237千円

( 上野児童館建設工事にかかる設計委託業務 )

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により選定しており妥当であったと考えている。 ○予算規模と、入札額(最終予算)に大きな乖離はなく適正であった。 ○費目・用途については事業の目的達成の観点から必要かつ適正なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	スクールソーシャルワーカー活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
担当部署名	教育部学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、学校及び対象児童生徒宅などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通して、ニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者等と連携・協働しながら、同児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	4,677				
		(b) 予算現額	4,677				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,677	0			
	B. 執行済額		4,266				
	うち交付金充当額		3,413				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		91.2%				
予算の状況の説明		・予算執行率は91.2%であった。 ・割引航空券等の購入により旅費の支出が抑えられているが、本年度の活動目標及び成果目標は達成しており適正な予算執行ができた。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	スクールソーシャルワーカー配置数	目標	( 小中学校:4人 (校区別) )	( )	( )	( )	
		実績	小中学校:4人 (校区別)				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・学校・関係機関との連携により、平成24年度の不登校児童生徒の数が大幅に減少した。 ・学校・関係機関または保護者とのケース会議開催により、児童生徒個々に対応できる組織体制が構築出来た。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)
	スクールソーシャルワーカー配置数	目標	( 小中学校:4人 (校区別) )	( 小中学校:4人 (校区別) )	( )	( )	( 小中学校:4人 (校区別) )
		実績		小中学校:4人 (校区別)			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	・学校との連携により、早期発見・早期対応を目指すため、組織内連携体制の確立を図るとともに、定期的な連絡協議会（月1回）を開催し、情報・行動連携の強化に努める。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導関連事業及び外部機関との連携を図る際の役割分担の明確化によってそれぞれの支援者の負担を軽減するよう組織体制の構築に努める必要がある。</li> <li>あくまでも学校を主におき、学校が何を求めているのかをケース会議等で確認し、相談者と学校との接点を保ち続けるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの関係機関の職務においては、相談活動などの共通した支援の内容があり、相談者が同じ説明を数回にわたって説明する場合がある。そのため、相談者の負担を軽減するために、関係機関の情報連携を密に行うよう努める。</li> <li>それぞれのケースごとに学校への報告を行い、情報を共有化する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

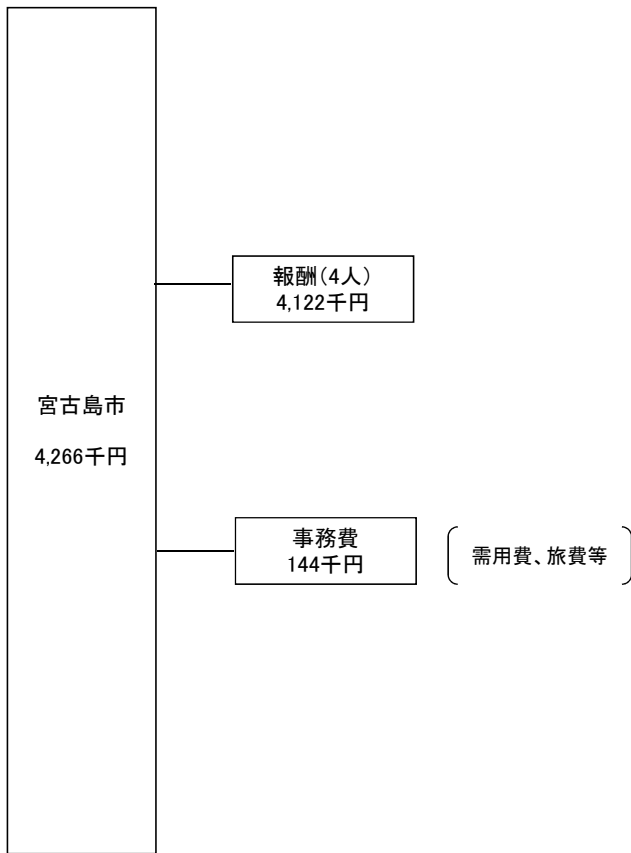
・学校からの要請に対し、よりよい形で支援ができるよう、校内ケース会議、関係機関を交えたケース会議、保護者参加型のケース会議等、必要に応じたケース会議を開催することで、支援の効率化を図り早期対応・早期解決を目指す。

・支援の早期対応・早期解決を目指すため、定期的な連絡協議会を開催し(月1回)、組織内の円滑な支援体制及び組織内における連携体制の構築を図る。

・学校への支援の際には、多くの視点からの支援の方法を見いだしよりよい支援活動が行えるよう、事前に組織内で協議を行い、助言を仰ぐ。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,266	4,266	3,413	853	



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	—
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○長期実績を踏まえたスクールソーシャルワーカー配置人数は適正で、その報酬額は本市要綱に基づき予算化しており、事業内容に見合った適正規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、報酬をはじめ、スクールソーシャルワーカーの資質向上に向けた研修会派遣など、事業目的達成の観点から真に必要であったと考える。

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-②	問題行動等学習支援者事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
担当部課名	教育部学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	2,886				
		(b) 予算現額	2,886				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,886	0			
	B. 執行済額		2,886				
	うち交付金充当額		2,309				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・予算執行率は100%であり、当初計画した活動目標及び成果目標を達成し、事業内容を実施できた。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	問題行動学習支援者配置数	目標	( 中学校:3人 )	( )	( )	( )	
		実績	中学校:3人				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・学習支援者の配置により、生徒指導主任及び学校職員の負担軽減につながった。 ・学習支援者の配置により、不登校生徒の数が減少した。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	問題行動学習支援者配置数	目標	( 中学校:3人 )	( 中学校:3人 )	( )	( )	( 中学校:3人 )
		実績		中学校:3人			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	・学習支援者の配置により、生徒指導主任及び学校職員の負担軽減につながった。今後は、学級・強化担任との連携を踏まえた活動が期待される。 ・支援員の配置により、不登校生徒の数が減少し、引き続き生徒指導主任の指示のもと、関係機関との連携を行うことが期待できる。					

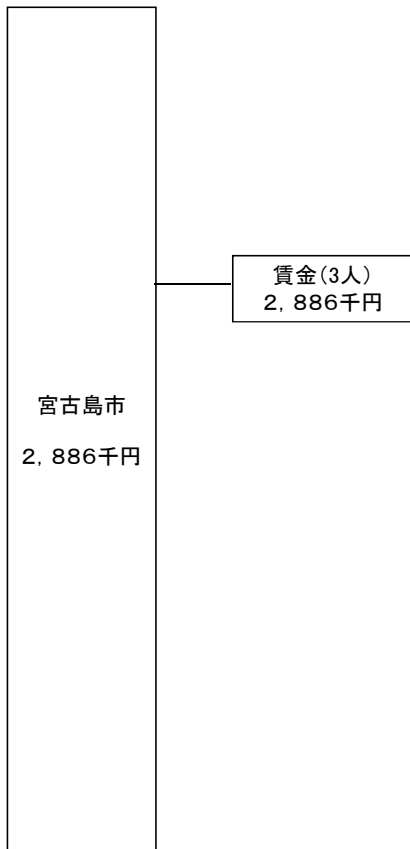
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員が活動する場合には、必ず生徒指導主任及び教科担任の指示を仰ぎ、支援者としての活動を心がける。</li> <li>・対象生徒の生活環境等の改善を含め、外部機関との連携を図るとともに、学校とのつながりを維持する立場としての役割を担う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な活動報告を提出し、指導・助言を仰ぐことにより、支援員としての役割を明確にする。</li> <li>・よりよい支援活動を行うために、外部機関との連携を行うことで、早期解決につなげる。また、学校とのつながりを維持する立場としての役割を担う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・外部機関を活用した場合、対象生徒の意識の中に学校とのつながりが薄れるような気持ちになる場合があるため、登校復帰が困難になる場合がある。そのため、関係機関との連携を積極的に行うとともに、学校とのつながりを維持した支援活動を展開する。  
 ・対象生徒を取り巻く環境整備に努め、校内体制の構築、学習支援等の個別計画をもとに支援にあたる。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,886	2,886	2,309	577	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	—	支出先の選定方法は妥当か。	○支援者派遣については、本市要綱に基づき審査、決定した人数であり、その賃金については、本市臨時職員に関する規則を適用、予算化しており、適正規模である。 ○予算は雇用に対する賃金であり、真に必要な支出である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-③		選手派遣補助金交付事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
	担当部課名	教育部学校教育課		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充
事業内容		本市児童・生徒のスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。					Ⅲ-3-(1)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,144				
		(b) 予算現額	7,508				
		(c) 増減額 (b-a)	2,364				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		7,508	0			
	B. 執行済額		5,578				
	うち交付金充当額		4,462				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		74.3%				
予算の状況の説明		・新たに制定した本市交付要綱において、対象児童生徒一人当たりに対する補助交付額を実績航空運賃の半額として定めたことにより、旧要綱で前年度実績人数に基づき通常航空運賃の半額を乗じた当初予算額に対し、航空券の早割制度の活用など、交通費の全体額が抑えられたため、実績額との乖離が生じた。 ・生徒の派遣人数は目標を上回っており、適正予算であった。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	◆H24年度計画人数 大会等派遣児童生徒数：小学校	目標	( 636人 )	( )	( )	( )	
		実績	658人				
	◆H24年度計画人数 大会等派遣児童生徒数：中学校	目標	( 1,041人 )	( )	( )	( )	
		実績	1,229人				
達成状況説明	・本市の地区代表選手として、小学校団体部門で県内外のバレーボール大会、ジュニアサッカー選抜大会、ミニバスケットボール選抜大会、吹奏楽コンテスト、個人部門で空手、卓球、ソフトテニス大会など、また中学校団体部門でバレーボール大会をはじめ、バドミントン、陸上、剣道、水泳、サッカー大会、個人部門で水泳、ピアノコンペティションなどへ派遣される児童・生徒に対し、補助金交付を行った。 （小学校：県内626名、県外32名）（中学校：県内1,213名、県外16名）						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)
	◆H24年度計画人数 大会等派遣児童生徒数：小学校	目標	( 840人 )	( 636人 )	( )	( )	( 840人 )
		実績		658人			
	◆H24年度計画人数 大会等派遣児童生徒数：中学校	目標	( 1,302人 )	( 1,041人 )	( )	( )	( 1,300人 )
		実績		1,229人			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	・本市児童・生徒のスポーツ・文化活動の場の拡充、活動意欲の向上に資するとともに、保護者の負担軽減に寄与することが出来た。 ・当初に設定した計画人数比において、小学校実績では計画人数(636人)より22人増の658人の実績人数となった。また、中学校実績では計画人数(1,041人)より188人増の実績人数となり、当初計画人数を大幅に上回る結果となった。 ・当初計画人数については前年度実績を基に算出しているが、年度によって派遣人数の上下変動が予想される。						

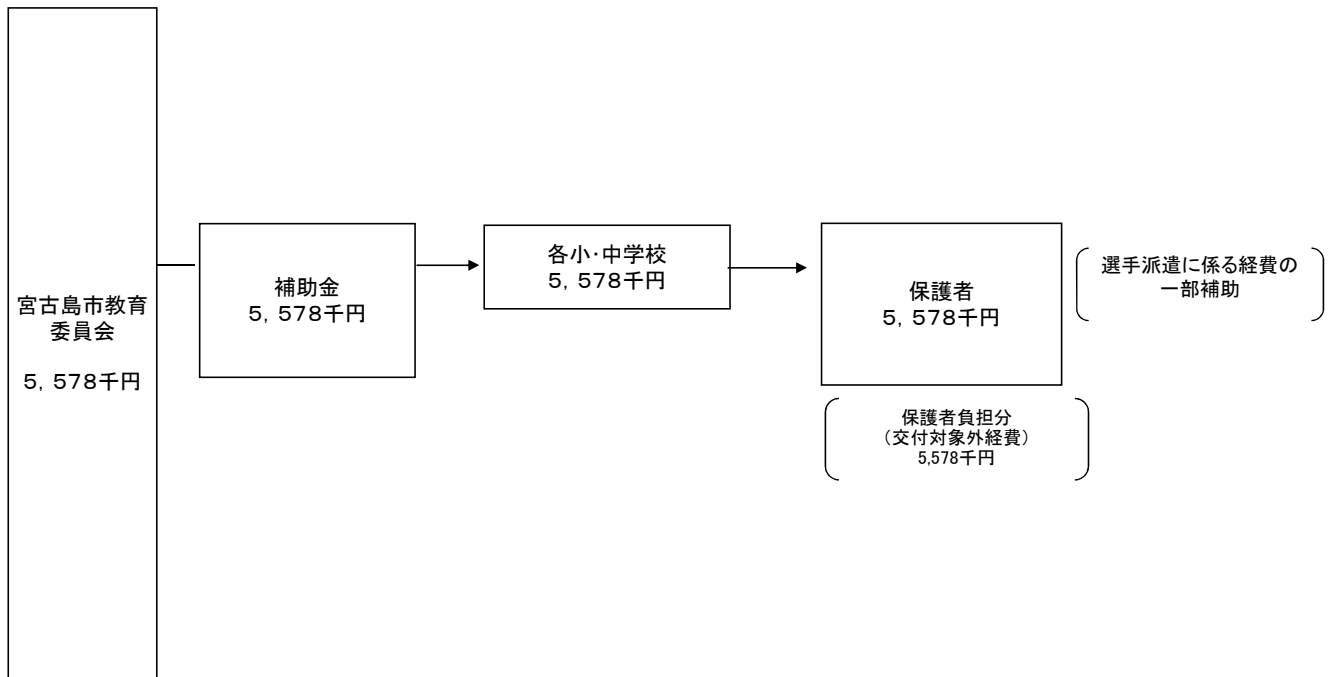
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本市は離島県の離島に位置し、本市児童生徒が島外の上位大会へ地区代表選手として派遣される旅費の一部を行政が支援するための補助金交付事業として、以前から長期にわたり実施、好評を得ている事業であり、推進上の問題は特になく、継続実施が望まれている。</p>	<p>・本事業スタートに際し、市の交付要綱及び内規を新たに定めるとともに、交付申請を代表する各学校に事務の流れについて周知を図ったことにより、スムーズな事業運営を図ることが出来ている。</p>

**今後の取り組み方針**

・本市児童生徒のスポーツ・文化活動とおとした人材育成の観点から、島内外の対外行事や試合等への参加を奨励するとともに、参加児童・生徒の島外派遣にかかる費用の保護者負担を軽減するため、本事業を継続支援していく必要がある。  
 ・本事業の執行にあたり、市で定めた選手派遣補助金交付要綱及び内規を遵守するとともに、適正に把握、管理できるよう、交付申請校に対し事務手続きの明確な流れについて随時周知を行う。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,156	5,578	4,462	1,116	5,578



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○要綱に基づき地区大会上位3団体・個人に対し派遣旅費の一部補助を行うことは妥当。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○派遣先を地区大会の上位大会のみに限定していることで、適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○要綱で定めた実績航空運賃の半額補助は、保護者との負担割として妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○地区代表派遣事業として県内外へ派遣される際の交通費(航空運賃の半額)補助は使途が明確であり、本事業の目的を真に果たしていると考え。

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-④	宮古島市子ども劇団設立事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成	
担当部署名	生涯学習部文化ホール	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	こども劇団を設立し、演劇を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミュニケーション能力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し、宮古島を表現することで、地域アイデンティティーを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	6,126				
		(b) 予算現額	6,126				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,126	0			
	B. 執行済額		6,076				
	うち交付金充当額		4,861				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		99.2%				
予算の状況の説明		予算執行率良好で、当初計画した活動目標及び、成果目標を達成し、事業内容を実施できた。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	演劇を活用した人材育成子ども劇団の設立	目標	( 劇団設立 )	( )	( )	( )	
		実績	劇団設立				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	演劇活動を通して、児童生徒の人材育成を図ることを目標に掲げており、専門家による指導の下、自己表現の方法や異年齢の活動の中から互いの触発、秩序などが発生し、劇団員の成長は顕著に表れている。それらは、成果発表（2回：演劇公演）を鑑賞した、市民の声、マスコミ等から称賛される結果となった。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	演劇を活用した人材育成子ども劇団の設立	目標	( — )	( 劇団設立 )	( )	( )	( — )
		実績		劇団設立			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	当初の入団者数を30～50名とし、減少を想定した上で、50名を目標値とした。初回入団者は、(56名)と目標値を上回ることができた。しかし、活動を進めて行く中で、団員の事情(部活・塾・習い事など)の調整がつかないとの理由で、退団する者が出てきた。結果として、H24年度末で、団員数は(36名)となった。					

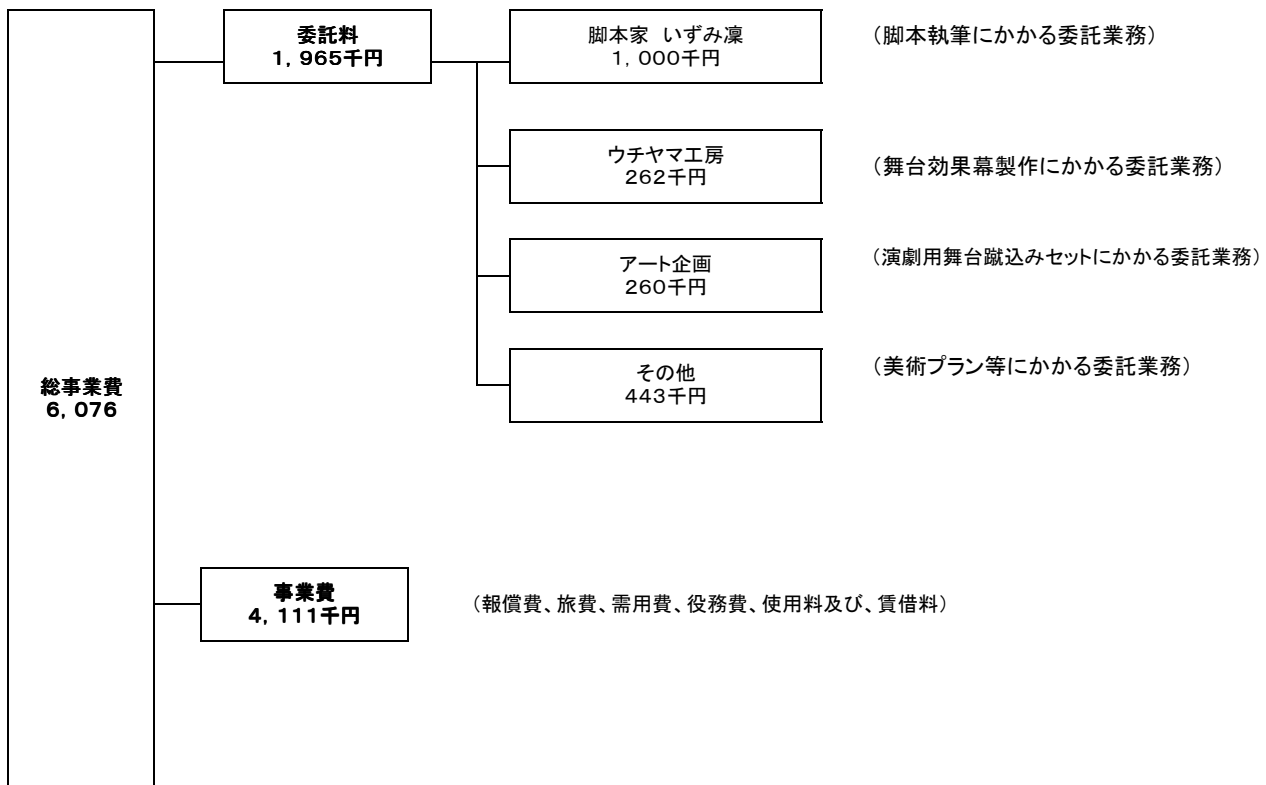
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	事業の内容が演劇活動であることから、活動の成果発表(演劇公演)を行うが、団員構成が小学4年生から高校2年生と成長の度合いに違いが出てくる。そのため、成果発表を年度内に2回することとした。初回は、高校生を中心メンバーとし、2回目を小学生を中心にして、発表を行った。さらに、中高生で構成する本格的な演劇に挑戦し、観客から高い評価を受けることが出来た。	25年度の展開としては、演劇内容のクオリティを上げるために、団員構成を小学5年生から高校3年として、新団員の募集を募ること。成果発表も、演劇だけの発表ではなく、部門別(ダンス・歌・踊りなど)に、発表し、団員のモチベーションを保つことも重要なことだと考える。

**今後の取り組み方針**

25年度は、地域発信の意図をもった「オリジナル創作劇発表」を事業の柱とする。そのことにより、演劇を通して、地域の文化、歴史認識などの啓蒙にも寄与していきたい。また、劇団員の潜在能力の発掘にも力を注ぎ、人材育成にも努力を重ねていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,076	6,076	4,861	1,215	



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業内容が、演劇と特殊であることから委託先を地元業者から選定できない環境があった。従って、演劇活動の中心である東京から選任した結果、有効な成果を生み妥当な判断だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容は計画どおり執行され、適正な予算規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、必要最小限を熟慮し、適正な支出に努めた。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	水道水源水質改善事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ	
担当部署名	上下水道部水道総務課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活圏の充実 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	本市の水道水源流域である白川田・東添道・福里北・伊良部地下水流域内で農業を営む耕作者を対象に地下水保全に関する緩効性肥料の重要性について、専門家による啓発資料の作成と周知を図り、地下水の汚染につながる速効性肥料の使用を抑制し、緩効性肥料への転換を促すことで、地下水保全を推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
		(b) 予算現額	2,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,000	0			
	B. 執行済額		1,806				
	うち交付金充当額		1,444				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		90.3%				
予算の状況の説明		執行率は90.3%で、当初の事業目標は達成されており、適正に処理された。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	緩効性肥料の普及啓発・パンフレット配布世帯数	目標	( 24,500戸 )	( )	( )	( )	
		実績	2回に分けて延べ45,500戸				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	当初目標のほぼ2倍の啓発活動を実施することができた（その効果については、下記進捗状況説明の項を参照）。第1回目の配布を平成25年3月号の市広報とともに24,500戸（広報みやこじまの印刷・配布部数）に配布した。短い期間ではあるが、反復効果を狙い同年4月号で水道水源保全地域がある宮古島本島部を優先して、23,000戸配布すべく、同年3月中に行政連絡員に配布依頼した。しかし事務連絡の行き違いにより、2,000部が未配布となったことから、うち1,000部を4月にJAおきなわにて、来客者に配布するよう依頼、残り1,000部を市役所各庁舎窓口にて、順次配布することとした。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (H21-23平均)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	緩効性肥料の普及啓発・パンフレット配布世帯数	目標	( — )	( 24,500戸 )	( )	( )	( — )
		実績		2回に分けて延べ45,500戸			
	【参考指標】肥料販売量に占める緩効性肥料販売量の比率（JAおきなわ宮古事業本部統計）	目標	( 1.70% )	( — )	( 1.90% )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	平成24年度中に、緩効性肥料の普及啓発パンフレットの全戸配布を実施した。JAおきなわによると、パンフレット配布後の販売統計は未集計であるが、過年度に比べて販売量が大幅に伸びているとのことであり、啓発効果がうかがえた。					

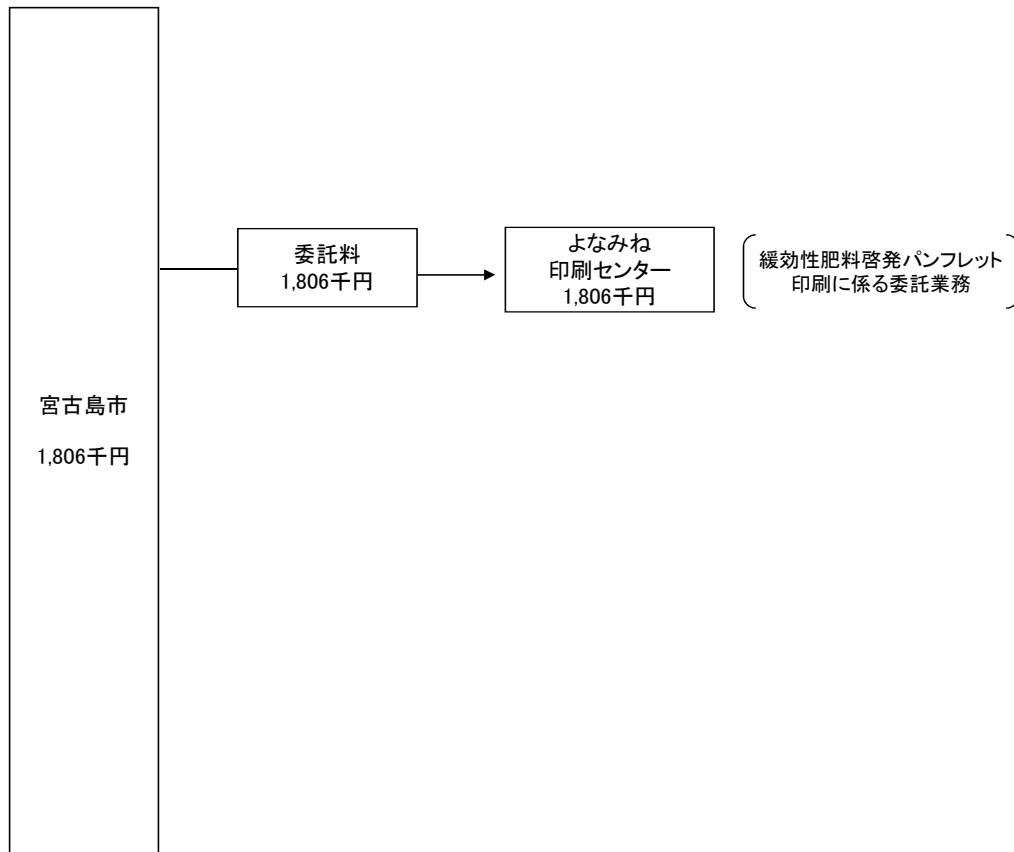
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>事業を推進する過程で明らかになった課題</p> <p>サトウキビ栽培はこれまで夏植えが中心であったが、現在プリンスペイトを活用した「株出し」に栽培形態が急速に変わりつつある。本事業では、地下水水質の改善手段として、緩効性肥料の普及啓発を実施したが、堆肥・緑肥の使用と併せて、今後中心的な栽培方法になる株出しに適応した、施肥方法の研究・普及が必要と考えられる。</p>	<p>本事業は平成24年度で完了したので、事業執行に対する改善余地は特にないが、緩効性肥料の販売実績と水道水源の地下水水質の推移については引き続き注視する必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

本事業は、平成24年度で完了した。今後、水道水源の地下水水質改善事業を計画する際には、上記留意点を十分に踏まえることとする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,806	1,806	1,444	362	



資金の用途の点検評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は市財務規則で定める随意契約の上限額を超えているが、市広報に折り込み配布する必要があったため、自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当するものとし、市広報印刷を請け負っている業者と随意契約したもので、契約方法は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○地下水水質改善は、全市民が受益者となるので、受益者負担を求めなかったことは妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	11-②	水道水源流域保全調査及び啓発事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ		
担当部署名	上下水道部水道総務課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活圏の充実	
事業内容	本市の水道水源流域のうち、最も重要な白川田・東添道地下水流域は、その北側において隣接する他の地下水流域との境界が不明瞭であるので、電気探査・ボーリング調査等を実施し、厳正な地下水保全を図るべき地域を明らかにする。また、これにより地下水の流域面積が明らかになり、そこでの地下水貯水量を正確に推定するため、降水の何%が地下水になるのかを明らかにするための蒸発散量調査も併せて行う。これらの流域保全調査が完了した後、水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置する。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(a) 当初予算額	24,267				
	(b) 予算現額	24,267				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	24,267	0			
	B. 執行済額	24,267				
	うち交付金充当額	19,413				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	執行率は100%で、当初の事業目標は達成されており、適正に処理された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	・白川田・東添道水道水源地下水流の北部における塩水侵入状況、流域界確定、水収支調査の実施	目標 ( 調査実施 )	( )	( )	( )	
		実績	調査実施			
	・上記調査を指導する宮古島市地下水審議会学術部会の開催	目標 ( 2回 )	( )	( )	( )	
	実績	2回				
達成状況説明	宮古島市地下水審議会学術部会の学識経験者の指導の下、平成24年度分調査業務を実施した。今年度業務では、特に東添道流域北部大浦湾からの塩水侵入リスクのための地質調査に重点を置いた(調査業務は当初より2カ年かけて実施、結論を導くことを予定している)。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(22年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・白川田・東添道水道水源地下水流の北部における塩水侵入状況、流域界確定、水収支調査の実施	目標 ( )	( 調査実施 )	( )	( )	( )
		実績	調査実施			
	【参考指標】第3次宮古島市地下水利用基本計画の改定	目標 ( 第3次計画策定 )	( )	( 改定案策定 )	( 計画改訂版発効 )	( )
		実績				
進捗状況説明	平成24年度調査業務の報告書に、経過報告並びに平成25年度調査計画を掲載してとりまとめた。					

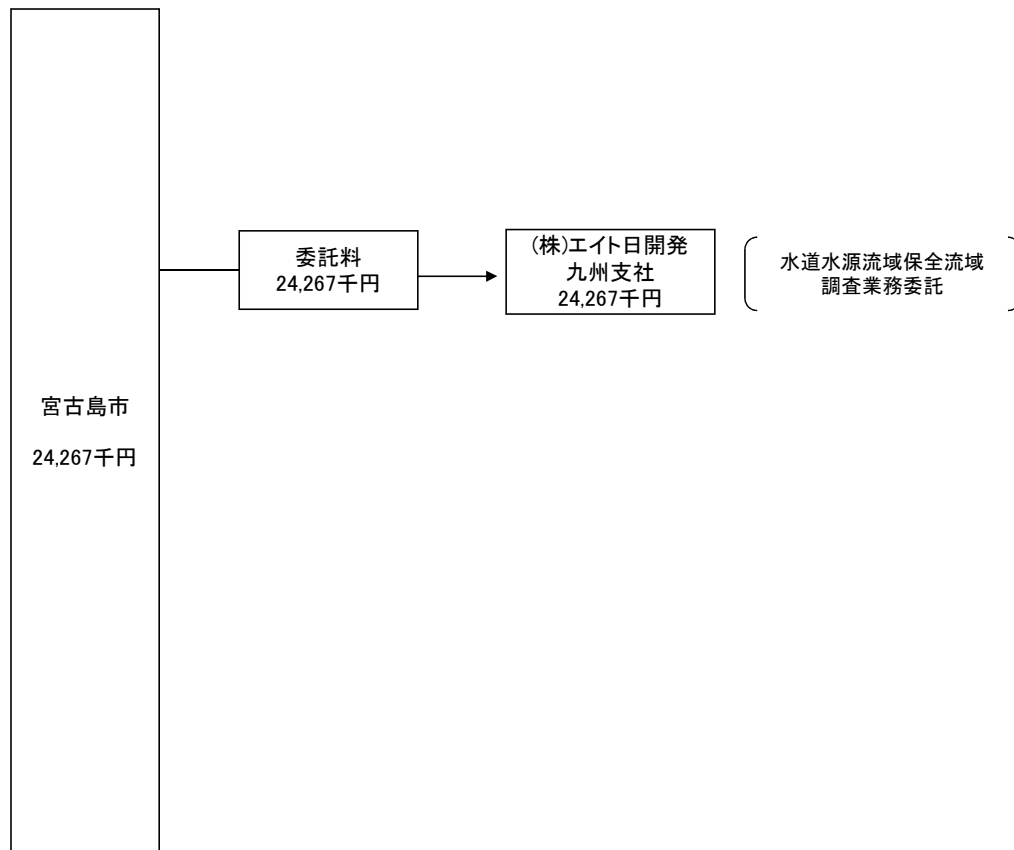
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>調査業務推進上の留意点</p> <p>平成24年度調査業務にて、東添道流域北部の地質構造が、かつて考えられていたよりも塩水侵入リスクが高い構造となっていることが示唆されたので、平成25年度調査では、その点を十分に踏まえた調査を実施する必要がある。</p> <p>地下水の流動方向を確認するための地下水観測、降水量のうち地下浸透量を明らかにするための蒸発散量調査は、長期にわたって連続して行う必要があることから、H25年度業務の早期着手が必要である。</p>	<p>左記の留意点を踏まえ、平成25年度調査の実施にあたり、宮古島市地下水審議会学術部会の指導が必要であるので、できる限り早期に部会を開催する。</p>

**今後の取り組み方針**

平成25年度調査業務を早期に着手し、同年度中に調査結果をとりまとめ、その内容を反映した第3次宮古島市地下水利用基本計画の改定案をとりまとめる。同計画は議会承認が必要となっているので、平成26年6月議会での承認をめざす。議会承認が得られた後に、計画の印刷・公表、水道水源流域の表示板設置を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,267	24,267	19,413	4,854	



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名型プロポーザル方式により、企業組織、実績、知識、提案内容を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○予算規模・事業内容は、専門家の指導・監督の下精査されており、妥当であったと考える。</p> <p>○本年度業務は調査の実施を主眼としているので、全額を委託料とした費目・使途は妥当と考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	



市町村名	宮古島市
------	------

**平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	12-①	博物館図録作成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ
担当部署名	生涯学習部総合博物館	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	文化活動を支える基盤の形成
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

**事業内容**  
本市の博物館には、約8,000点に及ぶ資料が収蔵されており、資料の幅広い活用を図るため、収蔵資料を整理し、データベース化、デジタル化及び図録を作成する。

**実施方法**     直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	3,582				
	(b) 予算現額	3,582				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	3,582	0			
	B. 執行済額	3,264				
	うち交付金充当額	2,611				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	91.1%				
	予算の状況の説明	不用額については入札残であり、事業内容の執行も当初計画どおり、概ね適正に実施できたと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		図録等の作成 (宮古島市の自然資料編)	目標	( 400部 )	( )	( )
	実績	400部				
	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績					
達成状況説明	平成元年に開館し、市町村合併後以来、寄贈を含め収蔵されている自然資料を、自然資料編として目録化することができた。今後、研究活動や教育の場での活用が期待される。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		図録等の作成 (宮古島市の自然資料編)	目標	( 400部 )	( )	( )
		実績	400部			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
進捗状況説明	企画展の開催や収蔵品目に関する情報の提供等、博物館の利活用に資する自然資料編の目録が作成できた。					

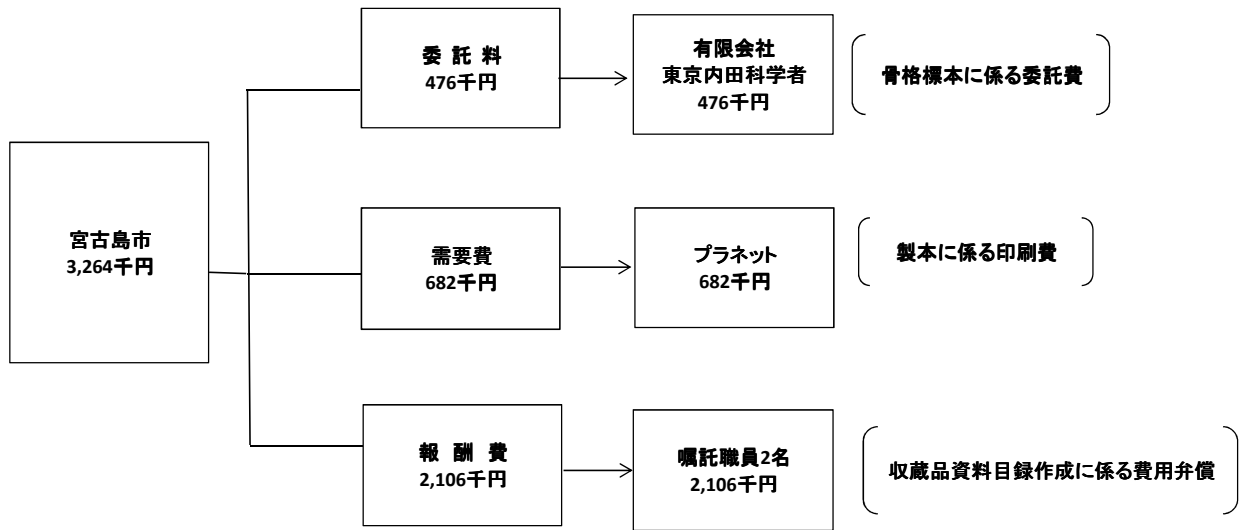
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	寄贈された資料の登録・採集日・地などの整理、保存に時間を要する。また図録作成は、寄贈された貴重な資料を基に完全な図録が要求されるため、その検証には時間と専門的知識を持った人材を確保する必要がある。	専門的知識を有した嘱託職員の配置が各図録等の作成には必要なため、効率的に作業が行えるよう執行体制の見直しを図る。

**今後の取り組み方針**

目録(自然資料編)の作成に関連する特別企画展の開催を計画し、展示コーナーなど新たに設ける。  
 今後予定している目録等作成スケジュールは、25年度「歴史編」、26年度「民俗Ⅰ」、27年度「民俗Ⅱ」、28年度「美術・工芸」としていたが、寄贈された資料の整理、保管状態の確認、分類などに当初予定よりも時間を要する見込みである。業務量を再検証し、事業期間の変更を検討して事業を進めていく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,264	3,264	2,611	653	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定にあたっては規則等を遵守しており適正である。また、嘱託職員の報酬は、市総合博物館嘱託員規程に基づき適正に支出されている。 ○今年度の事業目標を達成しており、予算規模は適正であった。 ○予算は事業目標達成に必要な委託費・報償費に限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-②	博物館内設備改修事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ	
担当部署名	生涯学習部総合博物館	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成	
事業内容	本市の歴史、文化、風習、自然等を映像コンテンツとしてデジタル化し、来館者に対し最新の情報を提供する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		17,850				
			17,850				
			0				
			—				
			17,850	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		17,776				
			14,221				
			0				
	執行率(%) (B/A)		99.6%				
予算の状況の説明	博物館内改修事業費の執行については、概ね事業計画どおり適正に実施できたと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	総合博物館内設備の充実 歴史、文化、風習、自然等の映像コンテンツのデジタル化による館内設備の充実 1) タッチパネル式音声案内テレビの設置	目標	( 5台 )	( )	( )	( )	
		実績	5台設置				
	総合博物館内設備の充実 歴史、文化、風習、自然等の映像コンテンツのデジタル化による館内設備の充実 2) パネル・写真・説明パネル制作	目標	( パネル・写真・説明パネル制作 )	( )	( )	( )	
実績		パネル・写真・説明パネル制作作成					
達成状況説明	タッチパネル式音声案内テレビ(5台)と、本市の歴史・文化・風習・自然等を説明するパネル・写真・ジオラマ・説明パネルを設置しており、活動目標を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	総合博物館内設備の充実 歴史、文化、風習、自然等の映像コンテンツのデジタル化による館内設備の充実	目標	( )	( 館内設備の充実 )	( )	( )	( )
		実績		館内設備の充実			
	【参考指標】	目標	( )	( - )	( )	( )	( )
	実績		-				
進捗状況説明	今年度は、タッチパネル式音声案内テレビの設置等館内設備を充実させた。今後は新たな映像を計画的に追加できるよう、映像コンテンツのデジタル化を進めていく。						

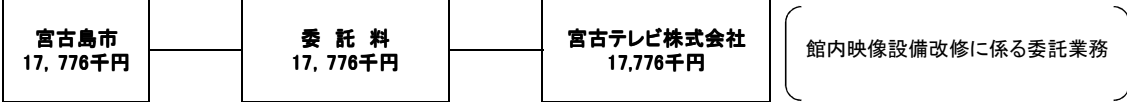
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	映像や情報は状況により変化が激しいので継続的に新しい物に入れ替えられるよう、市民のニーズに応える必要がある。	映像・音声の入れ替えを追加検討する。

**今後の取り組み方針**

今後も制作会社と協議しながら、新たな映像の追加や現在85点ある映像の変更を含め、来館者に提供する各種コンテンツの充実を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,776	17,776	14,221	3,555	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約によって委託先を選定しているが、委託先は長年にわたって本市内で番組制作をしており、島の情報や貴重映像を多く保有している業者である為、選定方法は妥当である。 ○今年度計画した事業は全て執行しており、適正な予算規模だった。 ○経費についても、一件書類を確認した結果適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	